

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-114)、  
廃棄物管理施設(89))」

2. 日時:令和5年10月30日(月)10時00分~12時30分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官

日本原燃株式会社 技術本部 土木建築部 部長 他1名

九州電力株式会社

テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部 副本部長

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年10月20日及び10月25日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・入力地震動の算定に用いる地盤モデルの設定
- ・地盤モデルの設定に係る対応方針

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・地盤モデルの設定のうち西側地盤の減衰定数の検討について、検討の目的や評価の判断基準とそれらの考え方が明確になるよう整理する。
- ・対応方針については、作業の方向性や目的、進捗状況等が明らかになるよう具体化する。

#### 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

## 7. その他

提出資料

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 令和5年10月20日  
「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

・ 令和5年10月25日

「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、横尾シマ
0:00:02	規制庁。
0:00:04	それでは、日本原燃とのヒアリングを始めます。
0:00:07	本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請のあった再処理施設及び管理施設の設工認申請について、
0:00:19	10月20日及び10月25日の訂正資料に基づき、事実確認を行うものです。規制庁側の出席者ですが、キシノ、ハバサキ、カミデ、あとウェブからコサクとなっています。それでは日本原燃、
0:00:34	親出席者と、今日の資料の議題の構成ですかね、説明をお願いします。
0:00:42	日本原燃のオガセでございます。本日のヒアリングの出席者でございます日本原燃江川でございますけれども、下からノモトオガセ、あとは社外の方でございますけれども大林組和田様、MHIサトウ様、東電設計部の様。以上5名が、
0:00:57	六ヶ所、東京、こちらの現地から出席してございます。
0:01:01	あとウェブ単位ですね、九州電力アカシ様にご参加いただいておりますのと再処理、すいません六ヶ所から事務局は、
0:01:11	参加してございます。
0:01:13	以上でございます。
0:01:15	本日のヒアリングでございますけれども、ですね、あと、耐震建物08期の西側地盤のデータを、5です。
0:01:29	させていただいているのと、それからですね、10月の6日10日のヒアリングを踏まえた最近の背景の指摘事項を踏まえた対応方針及び範囲箇所の種類2種類の資料を、
0:01:40	お出ししてございますけれども、えっとですねちょっと
0:01:44	ちょっとアノアカシサマーがちょっと、お忙しいところうちでもいいんだよ、そちらの準備ですね8、
0:01:53	オオノニシカワニワの技術論の方を、ちょっとさっきやらせていただいて、そのあとに、とは保守の方をやらせていただけたらなというふうには思っております。
0:02:05	ちょっとよろしければそのような形。はい。
0:02:09	そうしましたら、大変建物08の方でございますけれども、今回のニシノ一番に対する減衰定数の

0:02:19	検討のデータをご提出しているところでございます。では右にということで、関連するところを今回ご提出させていただいております。
0:02:29	で、追加した内容でございますけれども、今申し上げましたような下水行政に対する検討を追加するというので、今後、お出ししている資料の中で、
0:02:42	ですね、当日 126 ページのところ、西側地盤に対しての、その一番のですね構成を、から見た個々の特性というのの分析を示させていただいております、
0:02:57	ここでお示しております 127 ページの図、第 6.3. 2-1 図に、今、松木須田面数と、技術検層結果をご覧ください、
0:03:10	ますと、金ですね岩盤部分の業務層と、表層地盤の砂子又層下部の境界速度ストレスを有していると。
0:03:21	ということ。それから、
0:03:24	このですね、この速度境界に対応する層がヒライ向かって深くなる傾斜が見られておるということで、この地震観測、
0:03:34	4 月の結果が大きくなっているという特性があると、ということそれから、表層については六ヶ所層以外の基盤が、
0:03:48	分布しているということもございましてですね、このですね同定といたしまして、この不実 550 メートルパー秒の等速部署として、飛んでいただいている領域、
0:04:02	まして中間に層境界を設ける。それから、共通基盤の方にも、急患に層境界を設けるということでその層境界値も、想定の対象として検討するといったような方針に、
0:04:14	検討したということをこれ、ご説明してるところでございます。
0:04:18	そのあとにですね、右側のリニアマニュアル化というのは、同定結果シミュレーション結果のデータをご提供してございまして、また干渉法による検討につきましては、251 ページから、
0:04:31	250 に月額 50 ですね、ここからご提示してございます。ここ結論といたしましては、その東側基盤でご提出したのと同じように西垣伴につきましても、
0:04:46	表層における巻オク反射の影響が見られるということでこの干渉法による検討は、これ困難と言いますか、大本ハシモト判断したと、いうことを結論づけている。
0:04:58	いうところでございます。

0:04:59	あと、今回ですね、343 ページから参考 2 ということで、その初期モデルにおいて、品観測位置近傍の実機アノ規格を図を考慮しない場合とそれから考慮した場合の贈呈結果の比較ということで、
0:05:14	その最も最初の職モデルでやった時のその同定結果を、
0:05:20	が、どういうふうな特性を持っていてそれが今回、改造したことによってどうなったかというところの四角のこの 3 個を追加しているということで、このニシカワヒガシの情報について追加するということでございます。
0:05:34	ご説明は以上でございます。
0:05:39	規制庁、上手です。衛藤。
0:05:43	基本的にやってることは、東側と同じと思っていいんですけど。
0:05:50	はい、出野でございます。はい。その通りでございます。
0:05:53	はい。規制庁菅です。この間の会合だと東側に、まずは普通の平均の状態で、
0:06:01	組んだ、
0:06:03	組む速度構造のところになって、チューニングをするとこうなりましたみたいな表をつけてもらいましたけど、今回の資料でそういうのって何ページだったんですか。
0:06:21	はい。日本原燃のオガセでございます。今はですね、ちょっとその速度をいわゆる会合資料でお話した速度構造、重ねた絵のことをイメージされておっしゃっていると思うんですけども、こちらにつきましてはすみませんちょっと
0:06:35	今回西側についてもしくは東側で会合資料で示したものをこちらの補足へのフィードバックという形で書いているかという、ちょっと書いていませんでしたのでちょっとその同定前後の速度構造の比較のグラフというのは、
0:06:48	すみませんこちらの 08 の方の資料にも足させていただくことを考えて、
0:06:52	考えます考えることにいたします。はい。
0:06:56	はい。規制庁神谷です。127 ページ 2、
0:07:02	あるのは、これはチューニング前。
0:07:05	はい元オガセさんのおっしゃる通りでこれはチューニング前のPS塩素そのものということになります。
0:07:11	今速度境界が 127 ページだと、
0:07:19	−120 メーターぐらいのところと、
0:07:25	−35 メーターぐらいのところ、2、

0:07:28	速度境界がありそうだという状態ですよね。この境界を何メーターかずらしてっていうことですか。はい元岩瀬です。おっしゃる通りです。もし比べてみるとするとすみませんちっちゃい兵頭して恐縮なんですけど167ページが、
0:07:44	同定後の速度構造。
0:07:47	ところになります。初期モデルも、
0:07:50	すいません。
0:07:55	あんまり、
0:07:58	これは西側地盤の初期モデルのところでございますけれども、今上出さんおっしゃってありました下の方の速度境界というのが、131ページのところのアノー112メートル。
0:08:10	というところの、層境界がある112.60ですか、のところの層境界がもとのPS検層の速度としてあるところの上のところですね今の※1と深度のところの打っているところがございましてけれども、ここにアノ層境界を新たに設けて、はい。ここを細かく分割したと。
0:08:28	というようなそういうような位置付けになってございます。
0:08:34	規制庁坂です。
0:08:36	31ページはこれは書初期モデルだから、チューニング前
0:08:44	で、
0:08:45	今、ウエダ112メーターのところ、
0:08:49	協会があります。はい。
0:08:52	そのウエダー。
0:08:57	10メーターぐらい。
0:09:00	10メートル。
0:09:02	江藤それT30-39メーター、おっしゃる通り-36です。はい、-36と。はい。
0:09:10	-115、有井。はい。125とか、
0:09:16	で、これがどのぐらいずらした。
0:09:20	どこにどう作ったチューニングへの日本原燃オガセさんのチューニング5としましてはこの層境界自体も神作にしまして、結果として、チューニングされた結果としては、168、
0:09:33	はい。はい。168ページのところにあるものでございまして、
0:09:39	67台ですね、ごめんなさい167ページ。

0:09:43	同定結果のところになりますけれども最終的な訳としましては、ここの中の6層目と7層目の間、ちょっと深いんですけども-73.5メートルというところに想定されたというところがございます。
0:09:59	はい。薄井。
0:10:08	127ページにも、
0:10:12	東側の時って、
0:10:15	断層が走ってて、切り替わってって、だからそのぶつかるところに、おそらく境界があるだろうという、ある程度そのジャッジをして、
0:10:26	その辺にあるんじゃないかなっていう技術的な予想をもとにやってみたらありましたってことですよ。今回はこういう、
0:10:34	この辺にありそうだという、そういう判断です。はい。日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましてはまず最初に分割した時ちょっと127ページの図を見ながら、ちょっとゴソウご紹介させていただきたいんですが、
0:10:48	このいわゆるこの127ページの図のところをいう、いわゆるオレンジと水色の層の境界がどうやらちょっとフロートになってそうだなというようなところも見ましたので、もしかしたらやっぱりこの範囲でいきますと例えば-60とかみたいなどころまで、
0:11:04	深いところに同定される可能性があるなというところでは、アノは、
0:11:08	何か確認をしたというところが最初の取っかかりでございます。ただ今多分ご質問が出たということは先ほど出てきた同定結果が70、
0:11:18	8、13年、78、73.5メートルですかねという、やや深いところに同定されたその層境界がというところになってございますので、思っていたよりも深いところに層境界が同定されたなというのは結果でございます。
0:11:32	で、ただそこにつきまして、同定された結果、167ページのところの数字をちょっと見ていただきたいんですけども、
0:11:38	ここの分割したところ-73.5メートルの上下の速度のところをちょっとご覧いただきたいんですけど、これ鉛直だごめんなさい、セールスリーダー、すみません166ページですね表ご覧いただいて、そうですね。
0:11:51	水平
0:11:53	動、
0:11:57	600
0:12:00	谷オオキなそ
0:12:01	にならなかったというところ。



0:12:04	実際こって斜めになっているところですので、その何ていうんすかね東側地盤と違って完全に不連続にコウ地盤が効果なんですね、切り替わっているようなところではない。結構このなだらかに高度、どこからどこまでというふうなところの、
0:12:18	物が言いづらいようなところもありましたので、最低機会としてはここが出てきたわけなんですけれども、正直ここ終わったからといって、余りにコウドラスティックにこうなんですかね地質構造がここで言われていると、決めになったような話ではなくて、
0:12:31	この辺に置くのが一番この、
0:12:33	弱いインピーダンスではございますけれども説明上よく合うところに同定されたというところだというふうに認識してございまして、東側地盤よりは、これはもう大丈夫ですねはい。
0:12:44	井清というか、まず、
0:12:46	ちょっと説明ぶりとして、
0:12:50	地層境界、速度境界を設定したって言われるんですけど、多分そんな、
0:12:56	速度境界っていうのはそうなのかもしれないですけど、別に何か今回の検討
0:13:04	検層地震観測位置の地層の、
0:13:09	区分を定めているかって言ったら多分そんなことなくて本当は普通にボーリングとかって出てくるものだから、この結果で境界が同定されたっていうのは多分ちょっと言い過ぎっていうか物理とこういう言い方なのでちょっと、
0:13:25	変えた方がいいと思いますそれぐらいにしておくのと減衰のその何か伝達目的関数。
0:13:32	似たようなものがあるって、できるモデルになるんですってそれぐらいの話なので、何かそれで
0:13:40	カノウ的なことが、その実態として、わかるんだっていうことではないと思うんでその辺は説明ぶりは少し考えてもらったらいいと思いますとりあえず気になっていたっていうか何をしたのかっていうところは、
0:13:55	理解できますので、他、規制庁側から各委員からお願いします。
0:14:00	規制庁の岸野です。今までゆっくりしていた時に、
0:14:05	喜多委員。
0:14:09	先ほども山尾さん。
0:14:11	御説明。
0:14:14	イシイコード、各協会は、

0:14:16	伊井常務。
0:14:18	うん。
0:14:19	わあ、資料でいくと 126 ページ。
0:14:23	文章、
0:14:25	詳しく、
0:14:26	上から四つ目のパラグラフになってるんですかね。
0:14:30	三行目のですね、高速武装が地震関係。
0:14:35	んですけども、
0:14:36	チームから分布しているっていうふうに表現されて、
0:14:41	さっき言われてた多分表層と岩盤の境界がイシイコガ深くなっているが、ここはまたちょっと違う表現が使われていて、
0:14:50	これは何を意味してるのかなあとと言われて、まず教えていただけますか。
0:14:54	ありがとうございます。今おっしゃっていただいたのと同じこと言ってるつもりで品から、分布してるっていうのが、深いところから、分布してるという意味で書いていると、いうこと。
0:15:08	成長しました。
0:15:10	有名ですけど、127 ページの図を見たときに、ここでほう素
0:15:15	そうですね。
0:15:18	うん。
0:15:20	拝見おかしいです水色の岩盤のことをイメージして、
0:15:26	はい、規制庁しました。西側に向けて、
0:15:29	水色の岩盤の上端は深く、
0:15:32	層厚が浅くなる。
0:15:34	でも、いずれも 4 層の方が、多分この図で言うとフラットというのは水平なので、
0:15:42	単に水、層厚が西に向かって薄くなる。
0:15:46	んですけど、
0:15:47	それが深部から提供してると。
0:15:51	原燃はせず多分同じことを持つてると思うんですがその上、上面の傾斜がそれに影響しているであろうし、ごめん、これ日本語が私が良くなかったのかもしれない、深部から分布というのは深部から始まって下の方に続いている。

0:16:04	浅部アノ、この図でいきますと、右側の東側の方については浅部から岩盤が始まって深いところまで続いている、西側については深いところから岩盤が始まって続いているとそういう言葉の意味で書いたんですが、
0:16:16	ちょっと、はい。自分で読んでて語弊、誤解がある表現だと思ったので、ちょっとそこは。はい。今申し上げたような、
0:16:23	話でわかりやすく書こうと思います。
0:16:26	規制庁石松はい、わかりました。
0:16:29	そういうイメージでとらえると、
0:16:33	もしできました。
0:16:34	堀井所。
0:16:38	もうちょっと、
0:16:42	とらえやすい表現を工夫していただいて、
0:16:45	この場合、大坂層という言葉使われてますけど、いわゆる敷地地盤の中で、定足数を充足度層定義でいい。
0:16:55	多分、使われ方っていう、
0:16:57	に対して拘束ですよっていうそういう使い方してる。
0:17:00	うん。はい。日本原燃オガセですおっしゃる通りですので、岩盤がどこ、浅部かシンボかという話で多分書いた方が他のところとの言葉のトーンがあると思いましたので、そのようにしたいと思います。
0:17:12	です。はい。ちょっと関連して、
0:17:14	このあたりも質問させて、
0:17:17	言ったんですが、
0:17:20	このイシカワ時間、
0:17:22	伝達関数による検討ってのが 113 ページ。
0:17:27	ただ、
0:17:28	うん。
0:17:30	新幹線、
0:17:35	1、
0:17:36	説明は、
0:17:37	プルーム、はい。
0:17:39	この間の現地確認でも確認させていただきましたが、
0:17:44	各深度に設けられている地震計で水平方向はNSとEWを、
0:17:52	そのデータって、NSEW分けて評価する。

0:17:58	このページ以降、後ろですね、初期モデルの設定ですとか、目的関数の設定とか評価結果を見ても、特にNSとEW区別しないでも水平方法という人。
0:18:11	んですけど、
0:18:13	NSとEWでられた地震観測記録。
0:18:16	一緒にして評価を用いて、そのあたりの説明がないような、アカセ飛び越えていたと。
0:18:22	はい。日本原燃のオガセです記載のほうに、確かに説明が追加する必要があるというふうに認識しました。実際は地震観測記録っていうのは岸野さんも今おっしゃいました。仰ってました通り、NSEWそれぞれで水平方向は取れるということになっております。当然そのNSEWの振動性状っていうのは当然地震によって違う。
0:18:41	具体的に言いますと、震源の位置によって、到来方向みたいなところによって当然揺れ方というところは変わってきます。なので、それを各地震にならしてあげるというかそういうふうな処理が必要でございまして、つまり井清1は2、1回ちょっと変換してから、それで何ですかね、同列に比較してあげるというようなそういうふうなことをやっておりますのでその処理の話、今書いて、
0:19:01	なかったところでしたので、はい、北井の方させていただきたいと思いません。
0:19:05	それじゃ、ちょっとその処理過程をあまり正しく理解できない。
0:19:10	思うんですが、
0:19:12	臼井ちゃん、すみません、補足です。
0:19:15	岸野さんの声がちょっと聞こえづらくて。
0:19:19	マイクに近くしていただくか、ゆっくりしゃべっています。
0:19:28	今話のあったのは、
0:19:31	西側に傾斜しているということの特徴をどういうふうに認識をしているの、地震観測記録として現れているというふうに認識をしているのかそれを、
0:19:44	今回の分析でどういうふうに生かしてきたのかっていうことかなと思ったんですけど岸野さん、質問の意図はそういうことでいいですか。
0:19:51	はい。その通りです。
0:19:54	小阪ですわかりました。質問続けてください。はい。聞こえますか。

0:20:00	はい。それでメッセージに変換するというくだりがですね、私はちょっと理解できなくて、NSEWってそれぞれの葉系の特徴が出てると思うんですけれども、それら特徴をある意味、
0:20:14	どうかな形に変換するというようなイメージかなと、浅い理解ととらえたんですがこの辺りもう少し具体的に説明いただけますか。はい。日本原燃のオガセです。
0:20:25	書きます。最終的には書きますけれども、今ちょっと言葉での口頭でご説明いたします。先ほど私申し上げました通り、地震計の到来方向
0:20:34	に応じて揺れ方というのが当然敷地での揺れ方の方向性というんですかね、そういったところもいろいろと異なるところですね例えば南から来た地震でしたら、例えば東西方向、
0:20:44	東側から来た地震については例えば、鉛筆方法、
0:20:49	結構
0:20:51	でございます。
0:20:52	いわゆる震源の方向、行為の補正というものを地震観測記録に施してあげまして、
0:20:58	そして、
0:21:04	到来方向の基準化といいますかそういったことをやっている
0:21:11	規制庁内です。何となくわかり
0:21:13	おそらく
0:21:14	方向別の特徴をならした形で、東西もNANSもEWも、特に区別しなくてもいいような状態に一度戻してあげて、それを伝達関数等に使っているという理解。
0:21:30	をしたんですけどそれで合ってますよね。はい。日本原燃オガセサノまさしく今岸野さんがおっしゃった通りの処理の思想になります。
0:21:37	成長の基準です。はい。で、やられた観測記録については特に東西方向の特徴っていうのをフラットというのかな。
0:21:47	考慮しなくてもいいという、これもちょっと正しくないかもしれないけど、そういう状態に処理をしている一方で、
0:21:55	先ほど西側地盤の特徴として 127 ページですね。
0:22:00	図面に基づいて説明をされていて、西側に行くほど表層地盤が下に潜り込んできていて、より高い速度の層は、層厚が薄くなっているんですよというような説明なんですけど、
0:22:14	ここで言われている特徴って、EW方向の特徴であって、

0:22:19	NS方向はどうなんだっていうのがあってですね、地震は形は、NSEWの区別もしなくていいような処理をしてるんだけど、地盤の、ここはEWが効いてるんですというご説明。
0:22:30	で、N-Sはどうなんだって言ったのかっていうところもなくでですね、そのあたり、Wの地質上の特徴だけで本当にこの同定が決定づけられているのかどうかっていうのはどのように元の方で考えて、考えてという。
0:22:45	確認はされてますか。はい。日本原燃のオガセです確認はしています。アノというのは、今のすいません。確かに地質の断面図がEWしかつけていないところがございますけど当然あの中では、N-S方法。
0:22:56	見ておまして、そっちの方ではいわゆる傾斜みたいなところというのが顕著に見られない、やっぱりこの東西方向の傾斜というところが、支配的に効いているであろうというようなところが見えるぐらいのは一概にはありますので、そういう意味で西東西方法に着目をしました。
0:23:10	資料としては、やっぱりちゃんとそういったN-Sのところも書いて、やっぱりEWが傾斜してますねっていうふうなちょっと組み立てで作る必要があるというふうに今のやりとりしました。
0:23:21	規制庁の岸です。ちょっと今のご説明がよくわかんなかったんですけど、結局、N-Sはもう影響がなく、イダぶりに見られるこの特徴的な構造が、今回のNSEW共通の同定結果に、
0:23:35	もう決定づけられてるんだと判断したという理解でいいんですかね。はい。日本原燃の長谷ですそのように認識しております。岸野さんがおっしゃるところでいくと例えばあれですよねきっとNS成分の波は、あまり本当は、
0:23:48	感度がなくてEW成分の波だけに感度があるんだったらそこはそれぞれ別個に考慮すべきではないかということをおっしゃっているというようなそういうようなイメージでしょう。
0:23:57	清町の岸です。いやそこまでではないんですけど、N-Sとイダ取りはもうそういった特徴もあと無視していいような処理をしてるということであれば、は形状の問題は特になく、
0:24:07	ただは形を基づいて同定した結果が、このEW方向の地質構造によって決定づけられているんだという説明が本当なのかなと。
0:24:16	N-Sに全然触れてないけどそちらも踏まえた上での、この同定の判断なんだろうかというあたりをですねもう少し詳しく聞きたいなと思っております。はい。よくわかりました。ありがとうございます。はい。そちらにつきましては今先ほど申し上げた内容とちょっとかぶる。

0:24:31	ですけれども、地質構造の特徴を見るにイイダN-S方向については、特異な傾斜等の影響がないことを確認していて、EWについてはこういった、今お示しているような構造
0:24:43	のものがあると、それを踏まえますとEWの方によるところが、影響がある。
0:24:48	水平方向の地震力の、ある意味
0:24:53	というのは、
0:24:57	なので、そこをちゃんとケアしてあげれば水平方向の地震、
0:25:09	成長のキシノです。
0:25:11	ここら辺なかなか難しいと。
0:25:13	かな。
0:25:15	同定の結果自体に、イマイを唱えるつもりは私はなくて、ただそこに至ったプロセスが、この御説明だけだと本当かなってところが正直な受けとめでしたので、
0:25:26	N-Sの地質構造の特徴も踏まえて、この、特にEWの地質構造の特徴が、同定結果に効いているんだと判断したくんだりをですね、ちゃんと説明をしていただきたい。
0:25:45	よろしいですか。はい。日本原燃大橋です。今の点、かしくまりましたその辺のN-Sも含めて、見た結果を、その次、地質の構造を見た結果を踏まえて僕らは我々がどう考えて、
0:25:57	それでもって、我々の水平方向の地震力の量成分に対してこれで十分かという観点での考察っていうのを追加する必要があると認識しましたのでそれをちょっと追加するよう、
0:26:08	規制庁の千野です。はい、わかりました。
0:26:10	で、EW断面に着目するならば、この表層の、
0:26:16	常小俣層が西に向かって深くなる。
0:26:19	で、
0:26:20	よりやわらかいやつが、西に行けば行くほど、
0:26:24	深くなる、深くまで影響してくるであろうということかなと。
0:26:28	私はこの図面を見て受けとめたんですけど、一方で遠ざかっていくわけだからその影響ってのも、やっぱり薄れていくんじゃないかなというような気もしています。
0:26:37	127 ページの図でいきますと、この問題のこの水色の層のVsっていうのは、0.
0:26:48	ちょっと見えないんですけども、

0:26:50	さっきモデルご覧になった方がいい。はい。はい。おっしゃる通り、550メーターファーストで、
0:26:56	まず、今私見た131ページの表の上から3番目のところですよ。
0:27:01	流通です。それで、同定した結果、ここは何と何だったんでしたっけ。はい。少々お待ちください。
0:27:10	です。
0:27:12	同定結果につきましては、
0:27:14	来る、
0:27:18	166%。
0:27:23	160
0:27:25	6ですね。はい。166ページのところでございまして、真ん中のところの6番と7番もそうですね。なんか、580と660メーターパーセクになってございます。
0:27:35	田内です。はい。この数字を見たときに、こうやって思ったのが、東側地盤ですと、
0:27:44	断層を挟んで、PS件数を貫いていってその上盤側の高速度層提供が、下盤側にも出てるんだというご説明が割と、
0:27:54	理解できて、その上盤側からの高田影響っていうのを反映するために、下盤側もある程度Vsを高くしているんですね。
0:28:04	で、
0:28:06	話が繋がるなと思ったんですけども、一方で166ページの580と660っていうのは、初期モデルよりもどちらもちょっと高めにしていて、
0:28:17	西側に向かって深くなっていく軟らかい表層地盤の影響を受けているんだとするならば、
0:28:23	500諸口の550よりも上の方は少なく、小さくして、下の方は逆に高く強くするとかっていうのが、
0:28:31	あるのかなというふうに予想はしていたんですけども、どうもそうでもないという、このあたりってのは何か分析っていうのはさせていただきます。はい。日本原燃の岩瀬でございます。今岸野さんがおっしゃったようなところの話というのは、最初我々も着手する際には、そういった結果になるのかなあ。
0:28:48	いうふうに思って、やったところですから、
0:28:52	つまり表層地盤がちょっと深いところ、
0:28:54	出してる可能性があるから上の方がちょっとやわらかくて、
0:28:57	ところで、仮説を立てて初めて



0:29:00	なのですが、結果は今岸野さんおっしゃった通り、いうことをちょっと方、
0:29:06	おそらく
0:29:08	上限のところ岩盤中
0:29:10	傾斜しているというと、
0:29:13	地震は上がっているだけではなくて、何かしらの屈折みたいなの、
0:29:17	やはりあるの。
0:29:24	そこをVsをこのように
0:29:26	してあげること。
0:29:34	そうだと。
0:29:35	やはり乾燥
0:29:49	規制庁の木嶋です。
0:29:52	お話を聞いてるとわかった肝になるんですけどやっぱりよくわかんないんですよね。というのは、実際に手を動かされて、おそらく、想像で言いますと、何十ケースも持つか何百ケース。
0:30:03	パラスターをやってその中から、これが一番合っているっていうベストフィット。
0:30:09	ていうのを選んだのが今の結果だと予想してるんですけど。
0:30:13	もしそうだとするならば、
0:30:17	どこに着目してそこがどうであれば、これがベストだ。
0:30:21	ていうふうに判断されたのか。
0:30:23	そこがですね、わからなくて今のご説明を聞いてても、我々としてはこれが最適だっていうようなご説明しかなくて、
0:30:31	我々としてはそうですかとしか言いようがないような御説明になっているんですね。
0:30:35	なので、今回中オオヒガシとして医師も含めて、非常にたくさんの解析ケースを数ヶ月かけてやられていて、
0:30:43	結果的にはまずまずの印象ということはもちろん皆さんも社外支援者の方も含めておっしゃってはいるんですけども、
0:30:50	これがベストでって言われたのが、我々としてはそこに至るプロセスが、説明がなくて、原燃が言うんだからそうなのかなぐらいしか今受けとめていないんですよ。
0:31:00	なのでその辺りって、そこに至るまでの過程、どこに特にどこに着目して、どうであれば、
0:31:09	これがいいと判断したのか、数ある中で特にこれがベストだ。

0:31:14	先ほどの層境界でしたって何か、意外に深いところになっちゃったけど、何かこれがベストだ。
0:31:19	数字も初期よりもちょっと高くなっちゃったけどこれがベストか、なんでそうなるのかっていうあたりですね。
0:31:25	ご説明いただきたいなあと思っているんですけどそのあたりの説明はできますか。はい。日本原燃の間瀬でございますこれもちゃんと後で来資料には、核としてですけども今口頭での考えだけ述べさせて、
0:31:36	見ますと、今回資料にも一部ちょっと追加したところであるんですが、地盤の伝達関数をフィッティングとして、やはり最終的に応答スペクトルの計算に使うというところを考えますと、一番の一次二次当たりの
0:31:51	定時性といいますか、そこがやはり地盤の速度構造による、その山谷の影響というところが入ってくる場所ですので、そこがまず合うようにやらないとちょっとお話にならないという
0:32:01	ところがございます。まずそこを合わせることを、一番最最終的な観点とはするんですけども、今回この同定というところの解析につきましては、さっき千野さんおっしゃったような、何十何百トンやってその中から1個選ぶというふうなことをおっしゃったんですけど、実際には、
0:32:17	収束計算をやっていることになってます。繰り返し計算で、どんどんこの伝達関数の目的化すると、出てきた理論値のこの、
0:32:27	エラーの差ですねそれがどんどん小さくなるようにやっていってその差が十分に収束したというところでもって、ベストフィットだというふうに判断してやってございますというところでございますので、我々が何かしら恣意的に高速度これがイイダって選んでるようなところはないと。
0:32:41	あくまで収束計算で最適なものが出てきて、さらにそれを先ほど申し上げた、すいませんコサクです。
0:32:48	大岡さんごめんなさいね。はい。説明が長い。すいません。
0:32:53	端的に答えましょう。収束計算であることはこちらも知っていて、
0:32:57	その上での話だからいちいち言う必要はないと思います。はい。失礼しました。日本原電まず端的に言います収束計算でやって出てきた最適値というものが、先ほど申し上げました一次二次、
0:33:10	をよくとらえていると。
0:33:11	の確認を行ったことでこれは問題なく、ベストなものとして選んで選んでいるというところを確認しているという、そういう手順でございます。

0:33:21	すいません九州電力の明石でございます。ちょっと一言補足させていただきます。この収束する中で最適解を見つける中で関係者でやるの議論があったのは、
0:33:33	ご承知の通り、先ほど木曾千野さんからもありました通り、現状の結果を非常によくフィッティングする結果がえられてると思ってますんで、この若干、深いところの岩盤が当初、
0:33:48	想定してでも硬めに出てるところ、これをどう解釈してるかっていうところなんですけども、表層が傾斜して浅くなってその影響が出て、その学会誌で、
0:34:00	深いところの岩盤とのコントラストの影響が非常に効いてるということなのかな。そのコントラストの影響を、
0:34:10	感触として再現するためには、岩盤の外をもうちょっと固めにチューニングした方が非常に観測に合うということなのかなというふうに理解しております。
0:34:22	結果論かもしれませんが解釈としてはそのコントラストを適切に再現した結果こうなったと、いうふうにご理解いただければと思います。以上です。
0:34:33	成長のキシダです。流れは大体理解できました。まず、着目点は先ほど小形さんの説明にあったように、hpm二次ピークに主に着目をして、そのIが一番良い結果ってのはもう定量的に、収束計算をしておそらく何か判定値的なものが、
0:34:49	それで、一番ベストと思われる。
0:34:52	ケースをやったと。で、機械的にはそういった形で選定されたんだけどもそれ、なぜこれになったかという、考察については今明石さんから補足があったように、
0:35:03	こういった東西方向の地層境界、コントラスト的なものが1、影響しているんじゃないかというような分析をしていると、そういう理解。
0:35:15	はい。減免を外すまさしくその通りです。
0:35:18	セノクチですはい。
0:35:24	一連の流れ通して説明を聞くと、うん、そうかなという感じはするんですけども、ここの下結論に至るプロセスっていうのは、入れましたっていうだけではなくてですね。
0:35:38	今言われた、ある程度定量的客観的な指標を用いて、あと着目点を明確にした上で、

0:35:45	絞り込んでいるんですけどという説明があると、なお、透明に見えてくるのかなと思いますし、結果的に、このような同定結果になったことに関しては南北はそうでもないけど東西についてはこういうような特徴があってこういうふうなメカニズムで出てくる。
0:36:04	そう考えると、この同定結果というのも、つじつまが合うというか、すんなり入るよねっていうような、説明をしていただけると割と理解しやすいのかなと思いましたので、
0:36:15	そういう説明を
0:36:18	今補足いただいた明石さん含めてですね、社外支援者の方々とも、ちょっと医師を合わせながらですね、
0:36:27	ご説明を強化していただきたいと思いますんで、その点もう一度ご検討いただけますでしょうか。
0:36:32	はい。日本原燃のオガセですかしこまりました。今のところでいきますと160465 ページのところに、文章というか箇条書きに一次がよく合ってるですとか
0:36:42	地下構造と野瀬整合性とかみたいなところを書いているんですがちょっとロジック的に順番があんまりわかりにくいなというところは、思いましたので、ここをきちんともうちょい今のやりとり踏まえた上、
0:36:55	お時間記載のほうに改めたいと思います。
0:36:59	規制庁の木藤です。お願いします。
0:37:02	伝達関数の部分についてはあとちょっと条件設定に関して2点ほど確認したいと思いますが、この結果の評価に関して他の方から特になくて大丈夫ですか。
0:37:12	規制庁浜崎ですちょっとさっきの明石さんの、
0:37:17	説明である意味納得いったんですけどある意味納得いかないところがあってで、ちょっと127ページにですね、西側の断面図書いてあって、
0:37:28	今ページの菅小俣とブルーの
0:37:33	3、眼科、泥岩層ですね、たまたまその境界位置で地震は観測のコウがとらえているということで、
0:37:45	当初、初期モデルとしては131ページの形で、
0:37:50	ちょうどさっき言った須賀小俣層、電アノ層境界Vsという440と550の
0:37:59	ところと、いうふうに理解したんですね。で、今回、最終的にヤスタモデルっていうのは、さっき160何名にしてたんですけど、215ページでも一緒だと思んですけども、これ減衰景気も使ってるんで、
0:38:12	省協会としては変わってないんですね。

0:38:15	で、
0:38:17	さっきの須磨駒田さんのソフト、レーガンの層を、
0:38:23	そこをそれぞれ細分化したと。
0:38:26	ということで、これはフィッティングに最終的には寄与したというふうに理解してってますんで、
0:38:32	さっき朝日さん言われた宗協会の市野っていう話だと確かにそう協会市野AVSインピーダンス比ってというのは、
0:38:41	さっきの 131。
0:38:43	等に比べると、違ってはいるんですけども、
0:38:47	それよりは、私自身の理解は砂子又とれん案のモデル化を、この傾斜も含めてですね、
0:38:57	細分化したことによることで、改善が見られたというふうに理解してたんですけども、ちょっと赤井さんの理解と
0:39:05	一生ですか。違いますか。
0:39:08	九州電力の明石でございます。私の理解も、基本的にという言い方おかしいですがハバサキさんと一緒です。この層を分割することによって相川横江なったと。
0:39:22	いうのはその通りでございます。もう一つ速度の数字、音の探索範囲を当初し、かなり狭めに絞り込んでたんですけどもそれだとなかなか、
0:39:33	改善が見られなかったので探索範囲広げると、広げることによってAIが良くなったということは、何を意味してるかということ、そのコントラストというかこの硬さが
0:39:46	思ったより、観測記録へのあらわれとして思ってる固めに出てるんだなというふうに理解をしたと、いうことを、でございます。
0:39:56	ご理解いただきました長谷山崎です。多分定性的に理解しました初期モデルだと、サカタ 440 円が 550 に対して、
0:40:08	210 ページにあるように、それぞれ物性値を細分化したんで、メリハリがついてるんですね。スマートフォンにしても、令和にしても、
0:40:19	これは細分カーによる結果だということで、最終的にはフィッティングは改善されたということで、基本的な考え方としては、一致しているというふうに理解しました。
0:40:33	はい。以上です。
0:40:38	規制庁の木戸です。よろしければこの伝達関数の部分について、
0:40:43	すいません、補足です。
0:40:46	これまでのキシノさんとのやりとりの中で、

0:40:51	対応か、166 ページとかの解釈の部分を修正、追記しますということだけになったようなんですけど。
0:41:03	153 ページの評価方法のところ余りにも薄くて何も書いてないと。
0:41:10	というようなこと先ほどの 1、一次二次あたりを合わせるようにとか、
0:41:15	フィッティングレッキング
0:41:18	ていうところていうと収束計算という意味だと、何をどう考えての収束ということなのかと。
0:41:26	ということだったり、
0:41:27	そこは何も手当しなくていいんですか。
0:41:32	町長の岸野です。私が答える
0:41:35	ちょっと私が説明を求めていたのは、まさしくそういったところで、
0:41:40	その説明をしっかりとさせていただきたいなという、気持ちですがあまり明確に伝わっていなかったかもしれないです。元のいかがですか。はい。日本原燃のオガセでございます。すいませんここ先ほど 164 ページの考察のところ、一次、
0:41:55	ところを書いてるんですけどというふうなところの話をしましたが、今の話でいきますとやはりそういった観点とか、判断基準みたいなのところというのは最初の方に評価条件的なところを書くべきだろうと。
0:42:07	私はわかりますので、今のところ考察のところではだけではなくて、判断基準なんかも先に確認し、
0:42:14	54 ページ
0:42:17	違う、
0:42:18	元の
0:42:19	評価方法のところを設け
0:42:25	はい、細田です。ありがとうございます。で、加えてその前の、NSEWっていう関係、
0:42:33	は、
0:42:34	現状でどの程度書かれてるのかと少なくとも、N-S について追記をするっていう古藤はその前にもう回答されてるということでしょうかね。
0:42:45	はい。日本原燃のオガセですそのつもりでございましたN-Sも、N-S に対してどうなってるかという話。その上でEWを見ておくことで、いいですよねというようなところなのかな。はい。そういったところを変えて、
0:42:57	というところ、はい。つもりでありますので、はい答えさせ
0:43:03	はい。補足です。で、その上N-Sイダブル、あわせてその震源の一意にかかわらずに分析できるように、

0:43:15	調整されているという、
0:43:18	ことと、NSEWのこの傾向をこう分析しますっていうことの関係性っていうのはどうですか。
0:43:29	126 ページなり何なりで書けますか。
0:43:33	そうそう。
0:43:34	別所さん。
0:43:38	はい。静かに 16 ページ。
0:43:42	ですね。はい初期モデルの設定のところなのは、おっしゃる通り 126 ページのところ配送
0:43:53	はい。補足ですわかりましたよろしくお願ひします。岸野さんどうぞ。
0:43:57	榎です。どうもありがとう。
0:44:02	ちょっと明確が私の方できてなかったの、対応の方、明確になって、
0:44:07	よろしく。
0:44:09	と最後にあったその地層の構造の件ですねちょっと 1 点岩瀬れておりました。
0:44:14	129 ページの東側地盤の観測
0:44:19	地下構造を示されていて、
0:44:21	ここはここは断層面抜いてるんで、図面はN-S断面しか示されていないですが、EWも当然断層面抜くことが明らかであろうけれども、
0:44:32	当然こちらについてもですね、EWも含めて、地下構造との関連で、今の同定結果について説明ができるものと、
0:44:41	これまでの説明聞いてました。思いましたので、ここも説明の追加を、
0:44:46	検討ください。
0:44:47	はい、元渡瀬です。かしこまりましたそうですね。西井を東西南北やヒガシも同じように書いていただけるようにします。はい。そちらをつらつら抜いてる断層は一緒ですので、
0:44:58	違うだけで、話の筋としては変わらない。
0:45:05	失礼します。頭伝達関数関係ですねちょっと 2 点ほど確認したいのが、ちょっと最初に戻ってきて、113 ページなんですけれども、
0:45:16	ちょっと上の方に下線が引っ張ってしまして 1 日 1 回の定時校正という、
0:45:20	ご説明があります。これは
0:45:23	前回の審査会合でも観測記録の信頼性を確保しているといったくだりの説明に関連する部分だと理解していますが、

0:45:31	19日の現地確認の際は、それ以外にもですね、信頼性を確保するための工夫というか、行為というものをされていると聞いています。例えば、
0:45:42	観測計器の設置、観測系キーの寿命を踏まえた何年かごとの
0:45:49	置き換えですとかで置き換えた際に、正確にNSEWとか或いはねらった方向を取れて、
0:45:55	いるように設置するんでしょうけど取れていない場合はどうするかと。
0:45:59	そういったいろんなご説明があったかと思います。
0:46:03	信頼性の確保、
0:46:05	をする確保できているとする根拠はほかにもあるのであればですね、これはちゃんと説明を加えておいていただいた方がいいと思うんですけど、この辺りは、
0:46:13	何か追加で、
0:46:16	はい、原燃の加瀬でございます。ちょっとすみません
0:46:27	つきまして、
0:46:34	装置自体、
0:46:42	したい。
0:46:47	吉川アノ期カジタニ
0:46:49	オオバイシタ。
0:46:55	天然のバスで、
0:46:57	現地調査で、
0:47:02	おっしゃっていた
0:47:10	信頼性確保
0:47:37	表層地盤の探索範囲、Vsの探索範囲をプラマイ30から50%に拡大して、
0:47:44	いきます。
0:47:45	あと、129ページは東側地盤ですけど、
0:47:48	これは下の方について、PS検層の結果とは異なるVs1100っていうのを、
0:47:55	下の方に設定している。
0:47:58	これって、初期モデルの設定の考え方っていうのは124ページ、125ページ。最初に説明があって、
0:48:06	例えば岩盤だと0から10%表層だと0から20%にしますとか、
0:48:11	125ページ見ると、PS検層結果のS波速度を初期モデルとして設定しますって言うてるのに、



0:48:18	127 ページとか 9 ページでは、もういきなり別のことをやられてるんすね。
0:48:23	これって、
0:48:24	初期設定の考え方を随分自由自在に考えてるなど。
0:48:28	印象なんですけれども、初期設定って言ってる考え方と、どういう。
0:48:33	これを変えるっていうことは、どういう考えに基づいていって、問題がないんでしょうかっていうあたりの説明をしていただきたいなと思います。
0:48:41	はい。日本原燃の間瀬でございます。今ほど岸野さんがおっしゃっていた初期設定というのはデフォルトの考え方として、そこからの地質構造とかに、
0:48:51	基づく味つけみたいなやつをする時には個別にきちんと確認、設定するというようなところで、124 ページもちょっと書いていることを書いているつもりでございました。というのが 124 ページの上の、
0:49:04	2 段落目ですかねこのさから始まる場所のものでして、まず、基本的に考えることとしてPS研究というものをそのまま用いるこれを基本とするが、地質構造等で何かする時には
0:49:17	考慮を加えるというふうな形で考えておりますので、まずベースとなる考え方がありつつ、うまくいかない時はこうするようにはしましたというある意味何て言うんすかねコウ
0:49:28	じゃちゃんと考えのプロセスといいますか、どういうステップを踏んで我々がこのヒガシニシノ同定に持っていったかというところがわかるようにちょっとそういう基本的な考え方は今回残して、記載をちょっとさせて、
0:49:38	私です。九州電力の明石でございます。ちょっと補足。この辺のやり方は当社九州電力が前回川内でもやってることなんですけども、
0:49:49	まず一番スタートとして下のペーパーにもある通り、まずは主機値に対して、10%という範囲内で探索をするっていう、もう通常やるやり方です。
0:50:02	で、松原や悪い方向の反省として、玄海川内ではそれにこだわって、何とか、どうもおかしいどうもおかしいでなかなか先に進めなかったという、
0:50:13	ちょっと経験値がありましたので、制限、取っかかりの制限をとっぱらってこと探索範囲を広げてやると、なるほどそういうことかというのが見つかるということもあるので、これはもう私も含めて、周りの方からアドバイスをしても対策範囲を広げてやるべしとか、

0:50:31	ということでやったというのが後段の方に記述されている内容になります。なのでちょっとこれ通常、同定する場合よくやるやり方でもありますけどもその流れがちょっとわかりにくいかなと思うので、その、
0:50:44	整え直しは県にやっていただければと思います。以上です。
0:50:50	規制庁の長です。はい。補足ありがとうございます。
0:50:55	で、経験値ということなんですけど、まず、表層地盤で0から20%っていうふうに謳っておきながら、30から50まで拡大するっていうような、
0:51:06	これって合わせるためにはどんだけ広がってもいいっていうことに、
0:51:10	なるように読めるんですけども、そこら辺は特に制約とか、或いは考え方で、
0:51:18	条件とかですね。
0:51:20	適用条件とかそういったものがなく、もう合えば何でも、悪い言い方ですけどアオヤマなんでもいいというような設定の仕方で、よりよいものなんですか。
0:51:29	九州電力の明石でございます。会えば何でもいいというところちょっと語弊があるかもしれませんが今回のやり方も、10から20でなかなか合わない。なのでちょっと徐々に広げていったというのが事実です。
0:51:43	これがもう完全2アノ倍半分になるような話になると、どうなのっていう話にもなるかと思えますけども、今回の結果、
0:51:53	に対しては欠陥かもしれませんがそれ、そんなにおかしくない、いいやり方で結果はえられてるっていうふうに判断しております。以上です。
0:52:05	部長の岸野です。結果的におかしくないっていうのは、初期のPS検層結果から、
0:52:12	そんなに大きく離れなかったとか、あと先ほど言われた地層の状況を見ると、表層が深く入り込んで、
0:52:23	いわゆるいわゆる高速度層が下の方からのコントラストの影響を受けて反射してくるような影響も受けていてっていうようなことを考えると、これぐらいの値が、実際、実力というんですかね。
0:52:36	として、おかしくないっていうような判断されたということなのか、何か、何をもってそうおかしくないなのか、それとも他にあったからおかしくないのかその辺りってのは何かあるんでしょうか。
0:52:48	九州電力の明石でございます。先ほどの私の言い方結果論があったからみたいな言い方になってたかと思えますけども、確かにでも結果非常に再現性がよかったです。

0:53:00	ていうのがこれ、メンバー関係者で一致したところなんですけどこれでその地層の状況でありましたりから判断するとやっぱりこれ硬めにやっぱ、
0:53:13	当社特に仙台の場合も思ったよりも、
0:53:17	浅いところとか岩盤がアノって結果特性上が硬めに出るというようなところもありましたので、
0:53:25	その辺、このように傾斜の影響地質の影響がちょっと硬めに出るなるほどやっぱそういうことは、六ヶ所にも来てるんだなというふうに理解をし、
0:53:35	納得をしたというところでございます。
0:53:40	以上です。
0:53:41	店長の記者、
0:53:45	ここは実際にいろいろと工夫をされた方の感触として多分これが一番しっくりくるってようなところがあつたのかなと思いました。ただ、今、説明を求めてもなかなか言葉に、
0:53:57	しづらいのかもしれない、
0:53:59	感覚的なところではなくって、周辺情報も総合的に勘案するとこれが妥当であるということになるのかなと思いますので、
0:54:08	そこに至ったその考え方っていうのは、
0:54:11	やはりできるだけ明文化していただきたいなと思いますのと、
0:54:14	あと、これまで実績のある同定のやり方とか、から逸脱してるものではないのであればそれも、
0:54:22	ご説明加えていただければと思います。これまでの実績は非常に幅広いですね、もう 50 から 80 だとか、何ならもう二倍 3 倍までっていうような実績があるんだったら、こんなのも全く問題ないかもしれないんですけども、
0:54:37	ある程度ですね。
0:54:38	川内玄海でやった時はもうちょっと振れ幅小さくしてしまったけど、他のサイトとか、これまでのいろんな実績なんかを踏まえるとこれぐらいまで広げてもいいんだよと思えるものがある。
0:54:49	のであれば、もしくはそういったものを縛るものがないってことであれば、そこら辺ももう少し工夫を加えておいていただいた方が、
0:54:57	まだあるかなと思うんですがそのあたりは、できそうでしょうか。
0:55:02	はい。九州電力の明石でございますこの辺は、私、のみならず周辺の支援者その経験値であったり、一般論というか他の事例、いろいろ認識しているところですのでちょっと情報を集めて、

0:55:18	原燃の方でしっかりまとめられるようにさらに対応したいと思います。
0:55:24	すいません、私ちょっと別件ございまして、ちょっとここで退出させていただきます。申し訳ございません。
0:55:31	以上です。
0:55:33	瀬崎主査。
0:55:45	所長の内野です。あと西側についてはですね私の方は、200 ページぐらいの辺りにちょっと飛ぶんですけどそこぐらいまでの範囲で、
0:55:59	大丈夫
0:56:01	で進めたいと思います。ページは 214 ページをお願いしたい。
0:56:12	パラグラフ目にですね、5.5%の減衰定数がえられたというのもこれもまた、結論は述べてるんですけどどこ、どうしてこんな値になったのかという説明がまずまずないという
0:56:24	ですね、これはもう先ほど、
0:56:27	説明を求めたことの繰り返しになりますけれども、これもおそらくベストフィッティングを導き出すにあたっては、家族のパラストをやって、
0:56:38	その中でどこに着目して、その部分が最も合いがいいやつを選んだということなのかなと思いますので、
0:56:44	そのプロセスをですね、
0:56:47	ここにおいてもちゃんと説明を加えておいていただきたいと思いますが、今はそこら辺説明できます。
0:56:55	日本原燃の加瀬でございます。そちらのいわゆる一定減衰の時の
0:57:00	話は、
0:57:02	こちらにつき、
0:57:16	井清になってしまう
0:57:22	最終的にどういう
0:57:30	るかと思います。
0:57:37	延長後、
0:57:38	ちょっとほかのページでもあるんで、
0:57:42	概ね整合的
0:57:44	そうじゃないです。
0:57:46	帰りはない。
0:57:49	説明を加えながら、だからいいですっていう説明が多い。
0:57:55	これはある程度経験的感覚的な要素も含まれているとなかなかそういう表現を抜きにしては難しいのかもしれないんですけども、一方でその判断にあたっては、先ほど言った収束計算によって判定値的な、

0:58:07	数字も考慮してこれがベストだっていうふうに判断されているところもあるかと思しますので、
0:58:14	勧告的、
0:58:17	表現に終始しないですね。
0:58:19	ある程度感覚的なところも交えざるをえないかもしれないけれども、定量的なものもちゃんとしっかり見てるんですよ。あと、見る際の着目点はこうだというふうにルールはね。
0:58:31	ですよってというようなところをしっかりと説明いただいた方がいいかなと。
0:58:35	思います。これは例示として挙げたページだけじゃなくって中央地盤とか東側も今まで説明いただいているところもやっぱそういうところがありますので、
0:58:43	そこは
0:58:44	もう一度見直していただいて、
0:58:47	より具体的な説明ができるように、
0:58:50	していただきたいし、そういう目で見返したとき、
0:58:53	本当に整合的かっていうような、Dが、
0:58:56	同じ社内の中から出るようであれば、ちょっと再考の余地があるということかと思しますので、
0:59:00	そういう意味で執筆者ご担当の方1人で、ここはどう加工してないんだ。
0:59:06	再度社外支援者の方も交えて、
0:59:09	この評価はこれでいいのか、どうしてこういう整合的と判断できるのかというところを振り返りながらより適切な表現、説明ができないかというのを、
0:59:17	ご検討いただければと思いますけれども。
0:59:20	いけそうですか。
0:59:22	エンドウでございます。はい。おっしゃる通りだと思いますんでこのですね概ねとか、概ね整合的であるとかいろんなやはりちゃんと具体的な判断基準をできるだけ極力、
0:59:35	我々がやった内容というのは、従前からちょっとコメントいただいているところで、なかなかちょっと書ききれないところがあるというふうには思いますのでちょっとこれ改善して参りたいと思いますが、今おっしゃっていただいたように、
0:59:48	複数の上で、これにして参りたいというふうに思います。以上でございます。

0:59:53	町長の城戸です。はい。お願いいたします。
0:59:59	一応、別紙の3の本文部分については私は大体以上です。あと、現地、
1:00:06	現地調査関連で少しある。
1:00:10	ですけど、他の方から何か話がありましたら。はい。規制庁浜崎です。ちょっと今のように関連するんですけど、考え方を確認したいんですが、
1:00:19	例えば今回の資料で今話し合った218人なってますかアノに、一定減衰の場合ですね、210ページこれ中央地盤の話があって、
1:00:29	これ解放基盤表面から基礎底面、
1:00:33	でのとか減衰とか減衰が6.7って出てますよね。それは次の211ページから言うと、
1:00:39	だいたいGL-200、120アノ-20から-120。
1:00:44	ですか。これが0.067ということで、ここを代表的な値ということで持ってきたということである程度これざっくり会話基盤表面とはちょっと違うんですけども、
1:00:55	理解できますけれども、
1:00:57	じゃ、次の214ページ、西側に行くと、さっきも話イケダ5.5っていうのが出てます。
1:01:04	でこれ出てる。
1:01:05	ゴコウっていうのは右の215ページ水等、まだ36.82から112なんですね。
1:01:13	で、
1:01:14	実際、当期想定だと、例えばマイナス18だともうちょっと原子力
1:01:19	でアオキば4年だと0.03という数字が出てます。
1:01:23	ここを今、ざっくり0.055っていうのを、
1:01:27	ここへ持ってきちゃっているわけですので、
1:01:30	同じことは東側にも、
1:01:32	入れて、必ずしも、解放基盤表面から基礎底面っていうのがですね、
1:01:40	何ですかね、どの位置をどう処理して、この数字って出てきているのかっていうのがわからない。何となくこそ、代表として値を選んてるような、
1:01:51	これはこの考え方でいいのか、今後ですねこの数字って、ある意味独り歩きする可能性もあるんで、しっかりとした説明が必要というふうに考えます。その点、原燃はどう考えますでしょうか。はい。元のオガセでございます。今、

1:02:06	こちらの細尾の数字を岩盤のものとして扱いますというところにつきましては、対抗基盤、
1:02:14	ていうところが125メートルにあるんですがそれについて例えば117メートルとかっていうところをちょっと上にきてるところがあるというのは実際事実であるというふうに考えてございます。ただその層が125メートルに対してある意味、十分薄いこと。
1:02:29	という、あとはその解放基盤自体が硬いということもありまして、いわゆる我々のその解放基盤以浅の看板の種別として支配的なそうではないところ、むしろそれよりも下の方で支配的な層になっている。
1:02:41	から踏まえると、我々の解放基盤以浅の岩盤の減衰というところで見るときは、この層であろうというそういうような考え方を考えてございますので、ちょっとその辺の考え方をきちんと限ってあげる必要があるんだなというのは今認識いたしました。
1:02:55	はい、規制庁ハバサキそうですね今ある層を、層というかな、同定された数字をそのまま持ってきているのが、
1:03:04	適切なのかどうか、今介護基盤よりも若干上のところを境界にしています。それは薄井宗ですって言うてもこれ、減衰の値が小さいわけなんですよね。
1:03:14	逆に西側の場合は、もう少し基礎底までを通して減衰アオキめの値、
1:03:20	ソネ、
1:03:21	そこら辺例えば層厚み付けを考えるとどうかと思いますね。或いは今、
1:03:26	のような、この層をもって解放基盤表面から基礎底までの代表とするっていうのはある程度代表性を説明しないといけないですし、
1:03:35	ちょっとそこはもう少し説明が、
1:03:38	必要かなと思いますので、
1:03:39	その対応、
1:03:41	よろしいですか。はい。かしこまりました。その辺をやっぱり合わせて、
1:03:45	はい。
1:03:47	はい、アノハバサキ。
1:03:51	成長の資料です。
1:03:53	すいません。
1:03:54	以上です。
1:03:56	使用する。
1:03:59	先ほど、

1:04:02	ちゃんと説明してください。
1:04:05	200、
1:04:07	14 ページ。
1:04:11	5.5%です。
1:04:14	何かその説明を、がないでという話と、
1:04:17	その下の 3 パラグラフ名にですね。
1:04:20	4 行目ぐらいですか、地震観測記録との乖離が大きい経過となる結果となっておりとあって、
1:04:27	返りが大きいのが大きいのに何でこの辺りがベストなのかっていうところの説明と非常に引っ掛かると。
1:04:33	何ですか。
1:04:34	僕は何か、どういうお考えがあってですね。
1:04:37	はい。日本原燃の長谷でございます。今回はあくまで観測じゃない、ごめんなさい考慮する、伝達関数の周波数依存性をフラットに 3 種類コウのようにしましたというシナリオで行ったと思って
1:04:49	います。つまり、リニアバイリニア後、一定減衰。
1:04:53	というところを先に用意してあげて、ここでデータ革新の伝達関数の北口と乖離が大きいというのは、リニアバイリニアに比べたらちょっと大きいけどというようなそういう意味でちょっと書いたところがございますのでちょっとそこがわかるようにしてあるとか、
1:05:09	だから一定減衰という中ではこれがベストフィッティングではあるんですが、それでもその結果はリニューアルによりというような、そういうような書きぶりにしたいと。
1:05:17	説明します。はい。わかりました。ここの意図するところはわかりませんが、
1:05:22	14 番の 155 ページをお願いしたい。
1:05:26	もう、
1:05:33	一番下のポツの 2 行目です。
1:05:36	周期 0.1 秒付近で若干の乖離があるもの。
1:05:39	全体として、
1:05:41	この辺りも、この返りって無視しちゃう。
1:05:45	もしくは優先度をおっしゃって、
1:05:50	岡谷本。
1:05:53	元オガセですこれはすいませんちょっと、西出東出西ヒガシで書いたことを中央にフィードバックを、



1:06:00	きちんとすべきだったな。
1:06:02	してない。
1:06:03	いわゆる一次、二次、
1:06:06	きちんとあって、
1:06:08	主として、
1:06:39	規制庁のキシノですはい。おそらくこの検討の位置付けっていうのは、
1:06:45	リニアバイリニア等も踏まえて周波数依存性を見るつまり地盤の実態を考慮したときにはどういった形が一番あいが読むかっていうのをやった上で、
1:06:56	それを横にらみしながら次のステップで、周波数
1:07:00	に依存しない一定の減衰定数を、
1:07:03	やるということで、ここでの、
1:07:06	結果がそのまま設計値に使うわけではないわけですよ。
1:07:10	そういう位置付けの中で、ここの中ではここに着目してこの合いが一番いいというのかな。
1:07:17	この特性をちゃんと表現できているかどうかにかんして重きを置いて評価をしましたということなのかなと思いますので、そういった検討の位置付けも踏まえて、
1:07:29	どこに着目してどう評価するっていう考え方が、
1:07:33	説明できるんじゃないかなと思うんですけど。
1:07:36	いかがでしょう。アノオガセアマン文っておっしゃってるんですけど、イメージとして皆さん同じですか。
1:07:42	この辺りは
1:07:43	皆さんで共有していただかないと多分報告かなと思うんですけど、安全でございます。おっしゃる通りかと思えます。
1:07:51	これ、
1:07:52	書くときに、我々も注意しないといけないのは設計に使うのを何か大きめ気にして、何かやってるような、検討になるとそれちょっといけないんですけども、逆にでも責任に使うということを念頭にこの検討はやっている話なので、だからそういう意味でのその着目点がここであると。
1:08:10	いうことを念頭に置いてこういうふうに分けたという記載をしていくのかなというふうには思いますのでおっしゃる通りだと思います。
1:08:17	はい。
1:08:18	お願いします。

1:08:19	そうですね、各検討の全体の流れの中での位置付けでここでは何を取 りたいんだと、何を入れたいんだっていうことを明確にすればどこに着 目するんだっていうのもあるかと思えますんで、そういったことを意識し た説明手を加えていただければ、
1:08:32	より良いのかなと思いました。
1:08:36	すいません。あとちょっと、
1:08:39	162 ページの図が、今、確認をした説明に該当する部分。
1:08:45	はい。
1:08:47	0.1 両、若干の乖離っていうのが見られるのがですね、162。
1:08:52	スムーズのうち 10ー。
1:08:55	メートルを分母にした。
1:08:57	③⑤⑥、これはそういった傾向が見られるのかなと思ったんですけど も、他の深度ではそこまでも見られないといった、
1:09:06	着目する深度の伝達関数によって傾向があるわなっていうところも、 評価としてはあるんじゃないかな、多分してるんじゃないかなと思うん ですけど。
1:09:16	そのあたりの説明は特に触れられてないんですが、この辺り、進路ご との伝達関数のあらわれ方の傾向の違いとかってのはどう評価されてま すか。はい。日本原燃のバスでございます。今千田さんがおっしゃった ような観点での考察というのは当然、社内ではやっている。
1:09:32	ございます。結局今回の
1:09:34	行きますと、例えば 04 と 6 だと私はちょっとここは伴
1:09:43	梶本コウ 160。
1:09:49	いうところか。
1:09:53	取っていくところの、
1:09:54	中での高次のモードがちょっときいているのかな、一方で例えば、⑥番 なんかはかなりよく合ってるので、解放基盤以深についてはそんなに悪 さはないようなものだというふうに考えますが、
1:10:07	④⑤があるというところは
1:10:10	④と⑤で同じような傾向になっているというところはそれがパスがダブっ てる部分が原因だというふうに考えるというふうな話になると思います ので、ということは 125 と 18 メートルの間のところの高次成分の ところで、ちょっと悪さがあるのかなあというようなところがあり得る というふうに考えていますただ、

1:10:28	ここで一次二次のピークというのはきちんと合わせられているっていうのと、ごく短周期のところの地震動レベルはよく合っているところですので、ちゃんと地盤の特徴を踏まえた速度構造と、
1:10:38	減衰の大きさというところはきちんと出ているであろうというふうなような判断はしている。
1:10:46	最終的にこのヒトミ、
1:10:49	アカシヨシの状況が影響しないですよねというところの確認を採用して、
1:10:54	考察は社会、
1:10:58	全体の位置付けとしては、
1:11:10	どこ。
1:11:16	1、
1:11:26	1秒よりちょい
1:11:51	ちょっと。
1:11:53	術者の方が、
1:11:54	ご支援いただきながらも話していますが、かなりちょっとcm至難のわざと、
1:11:58	ありますので、やはり地盤の方、
1:12:06	かなりレベルの
1:12:11	設定。
1:12:11	はい。
1:12:20	そのあたりどこに着目してこう判断したのかというところを明確にして、
1:12:26	はい、大橋です。かしこまりました。先ほど来ている着目というお話の中では、この辺の結果も踏まえて、
1:12:34	全体的に学習が必要だと。
1:12:40	町長の岸野です。はい。よろしく申し上げます。
1:12:44	11画について1点あると申し上げましたけど範囲事項に関し、関連してのことなので、後程反映事項の
1:12:52	確認をしたいと思いますので、別紙2-3について私からは以上になりますけど他の方もしありましたら、
1:13:03	1点だけ
1:13:07	ズラッ全体で、
1:13:09	いや、
1:13:11	吉野さん。
1:13:13	本部。

1:13:14	できますか。
1:13:16	倉橋松橋新野さん、別所委員さんは、規制庁ハタケです
1:13:21	干渉法のほうの記載のところですね、210 ページのところの、
1:13:26	タムラ、
1:13:27	二つ目の方からここに参照工場西側ではちょっと、
1:13:32	不適だったという話の説明があって、これもさっきの
1:13:37	伝達関数のところと、
1:13:40	もう1、
1:13:41	一緒といえますかですね
1:13:43	こちらの趣旨は一緒なんですけども、要は、今、
1:13:46	さっきの話とちょっと違うような、砂子マターの上訴、
1:13:51	表層の厚さは、
1:13:53	それが影響しているだとかですね、いうことになってて、
1:13:59	本当かなというかですね、ちょっとこれ、
1:14:01	本来、確認しますけど 250 ページの下から二つ目のプログラム一方でのところの、これが今回、干渉法が使えなかった理由。
1:14:14	ですか、とすると、
1:14:16	東側と何か違う趣旨のような、
1:14:21	理解したんですけども、
1:14:23	はい。はい。日本原燃の加瀬でございます。まず、さっきの初期モデル野瀬時の話とちょっと書きぶりが、同じって言う違うということなんですけど、実は違う。
1:14:33	だと私は認識してまして、何かといいますと、さっきのあの初期モデル時は、岩盤の始まる深さが違うからって言う話で、一方でこちらは表層地盤がだんだん小西に行くに従って厚くなっていくって言うそういう差で着目してるのが表層地盤が岩盤かというところでの差をつけて書いています。その上でなんですけれども、
1:14:51	このニシカワっていうのはヒガシと一緒にかというと、川口も私は、全部が一緒だとは考えていません。何かって言いますと、西側の特徴としてはやっぱりこの傾斜、表層地盤と岩盤の層境界が傾斜しているというところつまり、
1:15:05	いわゆる一次元重複反射みたいのところ、こういうわって言う表層での
1:15:11	重複みたいのところってのはヒガシはある程度水平なのでそこでの重複で経路は説明がつくんですが西については、傾斜してるのが高反射して、単純な重複反射だけではなくて傾斜してることによって、ちょっとあ

	つちに波がいつてしまったり変な回り込みがあつたりとか、そういうふうなところの構造的な影響があると考へておりますのでちよつとそういうのはありそうだとするのは西側でちよつと特別に書かせていただけてますです。うん。
1:15:34	ちよつと今のご説明理解が。
1:15:37	できないというか、違ふんですけどよ。東側干渉を使えないのは、インピーダンス比が大きな大きい硬い層とやわらかい人で、やわらかい層の中で、
1:15:47	重複反射を繰り返したことによって、干渉法で必要なスタッキングは手書きだけ替えられなかつたような話の理由でございます。で、西側はどうなんですか。
1:15:58	西側はその岩盤、或いはその競争というところなんですけどね。
1:16:03	それが傾斜してるから、えられなかつたんですか。元オガセすみません
1:16:08	両方です。西側は、やはり表層がやわらかいですよねという話、プラス、傾斜の影響もある予定ですので、基本的にはヒガシと同じというところプラス、その西側特有の傾斜の形式影響という
1:16:21	はい、規制庁ヤマザキアサノニシウラって結構、インピーダンスあごめんなさいヒガシがあつてインピーダンスが大きいみちよつと具体的にないですか。
1:16:31	ニシカワつてそんなに大きかつたでしたっけ。
1:16:34	はい。前年のオガセ、大きい小さいのがその判断基準の、
1:16:38	話が難しいところではあるとは、
1:16:42	今
1:16:43	ます。
1:16:47	ちゆん。
1:16:49	木崎です。いや、要はですね冒頭
1:16:52	深見の方から話ありました。西と東の違いということで、はい。
1:16:56	ヒガシはこういう理由で、干渉を使えませんでしたっていうのはいいんですけど、西も一緒ですって言うていいものかどうか、ニシウラニシノ特性があつて結局3情報は、
1:17:07	ヒガシとは違ふ理由で、干渉使えなかつたですっていうか、いや、ヒガシと一緒にすっていうのが、
1:17:13	そこをしっかりと説明してもらいたいと思つてます。はい。日本原燃の大橋です。かしこまりました。

1:17:21	一応数字としても中央と比べればやはり表層とのコントラストが大きいというところ間違いなくいえるところですので、アノヒガシよりはその影響もしかしたら良いかもしれませんが、やはり中央よりは、そういうのが出がちだということはちゃんといえると思いますので、ちょっとそこ、そういう、
1:17:36	はい。着目点か書いてあげるのかなと思います。はい、秋山です。はい
1:17:42	犯収法は使える使えない条件になるわけなんで、
1:17:46	さっき
1:17:47	古閑さん違って東側傾斜してますみたいな話だったんですけど、
1:17:50	あまり東側傾斜っていう意味もあるんですね、表層は大丈夫。はいそうですね。日本原燃オガセサノ佐伯ヒガシは、むしろ傾斜はないけどないというふうに、大丈夫ですはい。
1:18:01	縁は傾斜していると。
1:18:04	須賀駒田。
1:18:05	であれば、かなり傾斜しているのが重要だと。
1:18:08	いう説明なんですわちょっとそこ、もう少し丁寧に、
1:18:12	はい、説明してください。はい。はい。すみませんちょっと自分で言ってて、思い出しました。
1:18:18	西側の特徴としてはあれですか表層地盤の中に、結構なコントラストがあるというふうなところもありますのでちょっとそこが、ある意味影響しているかもしれないというふうなところもちょっと考えておりましたので、その辺きちんと書かせていただきます。はい。
1:18:32	いきます。
1:18:33	以上です。
1:18:38	半分ボードも含めて
1:18:43	通常の基準です。別紙 2-3 については大体以上かと思いますが、あと、まだ触れてない本文部分も含めてですね、資料全体について、
1:18:54	確認事項がありましたら、
1:19:04	特になさそう。
1:19:09	こんにちは。
1:19:11	0 カッチの。
1:19:15	08 の今度はネット、
1:19:21	いただきました。
1:19:24	何か。
1:19:25	目したいことがある。

1:19:29	いたしました。そうしたら、えっとですね、20 ページに提出させていただきました。08 の指摘事項を踏まえた安全保障及びはい課長でございます。
1:19:39	せえとちょっと説明したいことというところで行きます。ちょっと補足だけさせていただきますと思いますけども、この資料の作り方としては違法日のところに、
1:19:49	このヒアリングでのご指摘事項等も踏まえた今後の反映方針ということで我々の作業方針を記載しているんですけども、資料反映箇所のところ、これ、
1:19:59	今から検討しながら反映箇所を検討するところは今後記載して書いてるんですけども、
1:20:05	2.3 の岩盤部分の減衰定数ちょっと説明が前後して申し訳ないですがちょっと具体的にここに書きますここにある
1:20:13	の、2.3 のところ三、四日 4-1 からのところですね、それを書いて、
1:20:20	今回のですね R22 イクタマの、やはりですね記載のところはインタアノ局が入ったところがあります。ちょっとそこを書いてると。
1:20:30	というような作りになってございます。
1:20:33	あと追加協賛結果を踏まえて検討実施予定といったようなところはそういうことで書かせていただいているのと、等でこれをですね踏まえまして、今日もいただいたコメントありますからこれまた、
1:20:46	プツリ抜粋いたしまして例えば 08R21 及び 22 の指摘事項を踏まえた反映方針は以下書という形でリバイスさせていただいて、次のですね 22 日です。11 月 20 日
1:20:58	提出に向けてということで作業するようなそんなイメージを持ってございます。以上でございます。
1:21:10	何か一つ一つっていうよりはもうちょっとこんな感じで書いてくださいねっていう感じなんだと。
1:21:17	うん。
1:21:19	それであと、全部、
1:21:22	最初はですね、全般があつて全体構成とかがあってありますけど、
1:21:31	ちょっとこれは最後、
1:21:33	後回しにして、2 ポツから確認があればと思いますが、規制庁側から、2 ポツ以降で、まずは 2 ポツのところ、
1:21:44	岩盤物性で何かありますか。
1:21:52	POS-3。

1:21:58	あれですか。
1:21:59	について、
1:22:01	もう、
1:22:03	これは以前からですね、例えば、
1:22:07	例に立ってその下に断層が走ってて、その左右でかなり不連続になっているような、
1:22:16	地盤に対して、このG14 の、
1:22:20	入力地震動を算定する地盤モデルを今までの元の説明だと。
1:22:24	片方がPS検層ある側だけで地盤モデルを組みます。
1:22:29	でも片方がある影響はどうなるのっていう
1:22:32	ものに対する回答方針ではないかと思うんですけども、②の一行目に、
1:22:40	PS検層、地質柱状図に断層が含まれる場合の物性の設定について。
1:22:47	という、
1:22:48	切り出しから始まっているんですが、
1:22:51	これを見ると、問題意識は合っているのかなとちょっと心配になりました。
1:22:56	これはどういう意味で先ほど言ったようなものに対して答える内容を、今、施工されているのか。
1:23:08	これ、すみません日本原燃の河津です。②の日本語はおかしいですね。すみません。実際は建物の直下のところで断層が走っていてそれで地質境界に不連続性がある場合には、
1:23:21	その上盤側の影響下側の地盤の影響それぞれについて、調査結果等に基づいて、どういう設定をするのが正しいかをちゃんと確認してその時には上盤側のデータした場合、
1:23:32	それを使うミナミ見に行くべし。その時には追加調査等もちゃんと、必要に応じて使うべしというところの意図で書いているところがございますのでちょっと②の書き出しがよろしくない。直下で断層が一番が切り分けられる。
1:23:45	場合においてみたいなどの記載にするのが、本来の趣旨です。こちらのやっている趣旨でもあり、その通り相談やっています。
1:23:52	室長です。何で木田氏からこういう違うこと書かれるから、
1:23:56	非常に不思議で、
1:23:59	このまま、
1:24:01	他の方に伝えると多分違うことで、



1:24:03	ちょっとですね、オオハシさんはもう、
1:24:06	ちょっと書き方がまずかったっておっしゃってるんですけど。
1:24:09	問題意識っていう表現されてるんでしょうか。
1:24:11	今、尾方さんがご説明あった内容で皆さん問題意識を持たれてる。
1:24:15	よろしいですか。
1:24:17	玄出野でございます。そうですね物性の補正の設定ではないですね。
1:24:22	はい。衛藤。そういう意味でいうと排水の設計に最終的に繋がって、そうですね。
1:24:31	ちゅPS件数に断層が含まれる場合ではないですか。
1:24:35	だったらそうですね。断層が含まれている片側のPS検層だけでどう物性を設定すると考えますと言ってるような、
1:24:42	うん。全然違う問題意識が違うなと。
1:24:45	はい。
1:24:46	現状でございますおっしゃる通りでしてこれ、このですねPS検層を取っているところに、
1:24:59	そうフクまれる場合というよりは、その建物の直下のその地質の構造を踏まえてそのPS検層のデータが、
1:25:11	これがどういうふうに分析していくべきかということを検討すべきだと、いうことを、これはやるべきだという認識を持っておりますので、
1:25:24	そこは認識が合っているといえますか、いうことで、すいません、ちょっとすみません、補足です。
1:25:31	等は、岸野が言いたいのは、野元さんなり、オガセさんが認識しているのかということだけじゃなくて、
1:25:41	作業する皆さんが、この言葉でちゃんと認識あげてますか。はい。
1:25:47	はい。この言葉だと会うとは思えないんですけどっていうことを聞いているん。
1:25:51	ですよ。はい。まず言葉をちゃんとしてもらうっていうのは必須なんですけど、元作業される方が一人一人しっかりと認識していなければ、はい。
1:26:03	言葉を直した上で改めて周知徹底をする必要があるということなんですけど、どういう状況ですか。
1:26:09	はい。正直言って、おっしゃる通りだと思います。今交通、ここで言葉がちゃんとしてないというのは、非常に問題だという認識も今してございます。ですのでこれはですね適切な言葉に改めまして、

1:26:23	関係者にまた、共有して周知したいというふうに考えてございます。以上でございます。
1:26:30	古作です。ごめんなさい。回答がいつも片手間になって。うん。
1:26:35	問題点をちゃんと認識してないんですけど、言葉を直すっていうのは、もう前提なところであってそれはもうあまり問題視してなくて、問題視しないとか当たり前なので、
1:26:46	その上で、現場は認識してるんですがどうなんですかっていうことを、
1:26:52	きちんと聞いてたと思うんですけどそれに該当してないんですよ。
1:26:55	元ノモトでございます。そういう意味ではですね、こういうの、今、認識してるのかという観点でいくとですね、私は認識していると関係者と言葉でもコミュニケーションしているので、
1:27:10	してるというふうには思うんですけども、ただこのですね記載がですね、合っていないとその認識のずれというのが関係者の間でやはりつめが生じていても、修正できないということだというふうにも同時に認識してございます。
1:27:24	ですので、こういうですね記載も改めますし、関係者に認識ずれてないかな、ないかという点の、この確認というのもきちんと取りながら進めて参りたいというふうに考えてございます。以上でございます。
1:27:38	はい、古作です。今のやりとりがなくて済むように最初の回答から対応いただきたいというところですのでよろしく申し上げますキシノさんどうぞ。はい、規制庁です。ありがとうございます。
1:27:50	で、その前提に立って具体的なことを確認したいんですけども。
1:27:55	ビデオにあります上盤側下盤側の地質構造、PS検層、地質柱状図の差分を含めた考察っていうんですか。
1:28:06	教えていただき、
1:28:08	はい。日本原燃のオガセです。
1:28:11	まだ分析中のところになりますので、ちょっと結果までは言えないところでありますけど、やってることとしては、いわゆるアノコウ、
1:28:18	次 14 をちょっと思い浮かべて、ちょっと話をさせていただきますけれども、次 14 っていうのは、いわゆる直下では断層に跨ってしまっている。だけれども、一方で、地質柱状図じゃなくてシステム間 2 次元的な断面なんかを見てあげると。
1:28:32	上盤側の地質構造と下盤側の地質構造というのがきちんとよくわかるというふうになっています。で、それで一方で、その上盤側のPS検層と下

	盤側のPS検層がどっかにないかなというふうを探しに行くわけで、24については当然、
1:28:46	当然じゃない、今までご説明しておりますので、追加調査で、
1:28:51	いわゆるピュアに上盤側ノジマとピュアに下盤側の地盤のPS検層結果を取りに行きます。で、そこで出た速度構造っていうところを、じゃあそのまま使っているのかというところの話は、ちょっとまた別の話でして、やっぱりその、
1:29:05	ちょっと外側のピュア版ピュアした場合のPS検層データをその建屋の直下での、宇和盤のエリアと下盤のエリアで、その層境界の深さの調整みたいなのをきちんとしてあげる必要がある。その上で、
1:29:16	ここの、次14のところの直下でどういう速度構造になってるかっていうのを、その周辺のPS検層新たなPS検層結果からちゃんと設定してあげようというようなそういうようなことをちょっと試行しているところでした。
1:29:29	すいません、ちょっと具体的なイメージ。
1:29:32	今のところ、
1:29:34	DASをはさみ箇所PSP。
1:29:37	それぞれられた核種を書く。
1:29:42	直下に組んで、直下だったらこうなるだろう。
1:29:46	何らかの手法で推定するっていうイメージなんですか。はい。日本原燃オガセです。それもやろうと思って、そういうこともやろうと思ってます当然ピュアは盤でどうなってるか下ピュア下までどうなってるかというのをきちんと確認をしますが、
1:29:58	直下でがどうなってるかというところの話も考えようとは思っています。ちょっとまだすみません検討中ではありません。
1:30:05	ちょっとダイセキの宇野でございますが、
1:30:08	この辺のことはですね、実際にPS検層の数っていうのは限られたものなんですが、
1:30:15	ここで書いてあります中央図っていうのはですね、前にもご説明しておりますように、
1:30:20	大体採取、サイヒョウで50メートルメッシュぐらいですね、切っております、その地質構造っていうのが大体ほぼ確定しております。それに対する速度構造もですね前お見せしたかと思うんですけども速度構造も大体、

1:30:33	その地質構造をベースとして、作っておりますで、今回ですね、一つの市場つうエクスパーっていうやつで、
1:30:44	このですね次 14 っていうのは、速度、その他直販直モデルとして出してるんですが、それがですね、新しく追加したものが、今までの既往のですね、その地質構造から求めた速度構造と、成功してるかどうか。
1:31:01	というものをですね、確認した上で、この
1:31:05	PSケアの速度構造、嘘、新しくやられた速度構造が全体的な速度構造と整合していればですね、平均的なものを使える。
1:31:16	またちょっと違うものであればですね、そういうことをですね判断しながら、
1:31:24	地盤モデルというものをですね構築していくということですね、この辺を書いたものから、
1:31:29	実際にその断層がですね出てくる出てこないっていうのは、
1:31:35	断層と一言で言いましても影響する断層もございますし、ヨシダ井清の方でございますので、
1:31:41	そういうものも含めてですね、物性の設定っていうのを、全般的なアナタダノPSケースだけじゃなくてそういうものも、
1:31:48	含めてですね設定していくというふうなことで考えて、
1:31:52	県の方でございます。えっとですね、ちょっとすぐくふわふわした言い方になってしまって申し訳ないんですけども、今岩盤部分の物性決めるときに、
1:32:02	その
1:32:05	近くにある数少ないボーリング孔での速度構造だけで、やはり決めるのはよくなろうという問題意識でこの話を始めてるわけなんですけども。
1:32:16	それも含めて追加調査で出したものも参照しながら決めています。そしてたらその時にですね、この
1:32:25	実際にこの速度構造をどう決めていくかっていうのは、ここはちょっと我々の中でも検討は要ると思っていて、それをちょっとどうやるかっていうのを今ちょっとお話はちょっとできていない状態だとは思っています。
1:32:38	で、例えば今事業のところの一つあるんで、追加検査もう一つ掘ると、だからこの二つを平均化するのか、それともこの速度構造で新しいものを作るのか。
1:32:49	それとどれかを、どちらが近いと思われるものとするのかとかちょっとそういうところは、よくちょっと考えていかないといけないということでそれがちょっと検討の方向性になるんだと思っています。

1:33:01	岡さんから今、こうじゃないかというのがあれば、ちょっと方向性をお示しするのかなと思うんですけど何かいえることがあります。ちょっと今現時点ではすいません先ほど申し上げたところ以上に、具体のところがないので今の、はい。武藤さんのお話。
1:33:15	のところではい。
1:33:16	それを具体化していくという格好してます。はい。
1:33:20	社長。はい。今どういう状況。
1:33:24	おそらくその先に具体的な方針が今日ご説明いただけるのかなと思ったけどそこはまだ
1:33:29	まずはデータを並べてみたら考え
1:33:34	で、追加調査、断層の西側でやってると思いますけど、これも、
1:33:40	今のところ、結果が出るのが、来月、11月、
1:33:45	そんな見通しなんですよ。
1:33:47	だから、
1:33:48	それを見てから考えるとすると、具体的な検討方針が何らか示されるのは12月に
1:33:57	はい。元ノモトでございます。そういうことになろうかとは思いますが。以上でございます。
1:34:03	町長の岸野です。PS件数を見ないと、確かに具体的なことは言えないと思いますけど、
1:34:08	その一つ、
1:34:10	うん、見て、どうするかっていう方向性としてはある程度、その時点で、イエスを或いは立てられそうな気がするんですけど、それは、データから考えりゃいい
1:34:23	感じで、
1:34:26	権限の方でございます。出るまでにそのあとの施工の方向性っていうのは、いろいろコウをいしコイケんはするんですけども、
1:34:37	ちょっと出てきたものに応じて、ある程度、シナリオの修正もかかるんだろうなと思いつつ、こうしますというのを確定的にちょっと、
1:34:48	申し上げるのは、ちょっと難しいかなというふうに思っていたところでございます。
1:34:53	成長でしょ。はい、わかりました。ただ目的は何ですかっていうことで、その次14に入力する入力地震動算定としてどういう地盤モデルを用いるコウ多分決めるのが目的だと私は理解してます。

1:35:09	だとすると、PS検層出てから具体的な層境界部性とかってというのは決まるかもしれないんですけど、やり方としては、
1:35:17	単に1点のPS検層結果に比べてどっちがいいかを使います。
1:35:22	どうやって判断するんですか。
1:35:25	何となくこういう周期さ図る計算してって計算レベルでやるんですか。
1:35:30	入力地震動の大小ってそれで評価できるんですか。
1:35:34	といったときに、
1:35:36	例えば1案としてはそれぞれで1言語で、入力地震動の大小を実際に比較してみると、
1:35:43	断層の影響を見るため2次元モデル。
1:35:45	やり方というのはいろいろあるので、
1:35:47	当然選択の自由はそちらにあるわけですが、
1:35:51	これまでのような入力地震動の大小を評価する上で、
1:35:56	ちゃんとか。
1:35:58	明確なことがいえる手法になってるかというような観点ではよく考えていたいただきたいなど。
1:36:05	そういう点で、
1:36:07	早めの方向性っていうのを検討いただいて、ご説明いただかないと、これが最後、論点としてくる可能性も、
1:36:16	あるんじゃないかなと。
1:36:18	ですので、
1:36:22	県民の方でございます。はい。おっしゃる通りですね、データ見てからってということだとこれ、この地盤モデルの妥当性に関わるところになってくるとこの認識も我々持ってはおりますので、
1:36:35	今おっしゃっていただきましたように、何も決めてないっていうわけではないんだと我々も思っていますから、衛藤ここ、今の断面、
1:36:45	どう言いますかデータが出てない駄目であっても我々こういう非公開論でこういう検討の、このオプションの中で、検討していきますと。
1:36:55	いったような方向性は、できるだけですね、この後何を検討するのかという古藤のメニューがちょっとわかるようなところを極力、次のですね08の改定の時には、お出しするような、
1:37:08	形で検討を記載したいというふうに思います。以上でございます。
1:37:14	はい、鶴来です。
1:37:17	ご検討お願いします。
1:37:19	すいません。規制庁上出ですけども。

1:37:22	これ、結局、次何アノ事業考案って、データは取るんですね、PS検層という。
1:37:30	ました。うん。そのあと何すんでしたっけ。
1:37:34	PF検層取ってからどういう分析をするかっていうことですかね。何すんの。
1:37:42	P府県とでとつ
1:37:44	て、速度コウアベの方でございます。そのデータとイナガキとしての速度構造が出て参りますんで、そうすると、
1:37:55	これまで片方でしか入れてなかったのがローターで見えるとかそういうような形になってくると。
1:38:01	いうことになってきて、阻止
1:38:03	そのPS検層で獲られた速度、
1:38:07	と、それと地質構造から見た建物の直下のですね、その地質構造を、に比べたときに、じゃあ今度、
1:38:20	設計基盤までとして、設計する時の
1:38:25	物性値の設定の仕方はこうしようということを検討していくというすいませんホアシ言い方なんですけども、ちょっとそういうことになるかというふうに思ってます。
1:38:33	毒性超過です。今の話だと速度構造を見比べて、
1:38:41	クドウコウ図を見比べますと、
1:38:43	どうするか考えます。その何か、何をどうするかよくわかんない。
1:38:47	設計モデルはいんですか、設計モデルとか、グループで平均したものを、
1:38:53	下へ変えようとする、チューニングしようとしている。
1:38:57	藤秋野でございます。新しくPS検層替えられるので、それは平均化の、通常で言えば対象になるんだと思って幾つでですね。
1:39:08	ただ、この場合ですね、すみません、補足です。はい。言葉を、
1:39:13	気をつけていただきたいというか、あれなんすけど、今平均化って言われたけど、そもそもどうデータを使うかを決めてないって言いながら平均化に使うって言われると、やっぱり平均にするんですかって感じに。
1:39:25	なっちゃうんですけど、かつ、平均に、
1:39:29	平均なりデータを取る範囲ってどこっていう話もまだ整理がされていない中、
1:39:34	ちゃんと1から積み上げていく表現として、

1:39:39	考えていただきたいんで、ちょっと誤解を招きまくる感じなんですいません。よろしくお願ひします。はい。原燃の郷でございます失礼いたしましたおっしゃる通りだと思ひます。はい。
1:39:56	古作です。ついでに申し上げると、東側地盤で、先日説明のあつた、
1:40:04	データの傾向からすると、
1:40:08	断層跨いでいたりというときには、両側というかですね、周辺、
1:40:14	的な分析をしますと、
1:40:17	ということが知見としてやられたつていうことだと思ひんで、
1:40:21	ソウノ状況としてどれだけ建物にそれぞれ影響してくるか、ということをお考えながらどうデータを使ひますかと。
1:40:29	いうのを説明していただかなきゃいけないつていうのが現状だと。
1:40:33	ています。
1:40:34	で、その際に今回、今話題になつてるところがどういふ状況なのかということなんですけど、その際、どの程度の影響度合ひかによつて趣づけをしながら取り入れるなのか。
1:40:48	不確かさということをお考えいくのかといういくつか選択肢はあるんだと思ひんですけどそのあたりどうお考えてるんですかつていうのが、全般的な問ひなんじゃないかと思ひんですけどいかがでしょう。
1:41:02	できることがありました。はい。今、コサクさんがおっしゃつたところが正しくすいませんそこがちょっと結果を見ないと何ともお言えないところだと思ひてましてやはりいろんなパターンがやはり断層宇和版見る化した場合見るかミックスで見るかといふようなパターンが考えられるんでそれつていふのは、
1:41:18	やはり解析結果に対して、大なり小なりの差を与える、その差をどう扱うか、もし本当に有意な差がないつてまた使つちやつてごめんなさいなんですけどであるならば、どれかで代表するといふ考えもありますし、それがもし結構離れているのであれば、
1:41:33	乖離するよふな結果であればばらつきで見る必要があるとかその辺は、やはりやつてみた結果に依じてそのお押し付けるばらつきをつけるかどうかとつていふところをお考えいく説明していくことになるなつていふのが、ちょっとお思ひつていたところでございます。
1:41:46	コサクです今のやつてみてつていふのをやつてみるのものは何ですかつていふ問ひなんですかね紙ですか。
1:41:55	はい。カミデです。今ちょっと、
1:41:58	集中してます。



1:42:00	日本原燃のオガセですそういう問いだと私が認識して今ちょっと話しまして、それでやってみる何を見るかというのが先ほど岸野さんがおっしゃっておいりましたような、最終的に入力地震動を決める上で、ただ応答を見るかとか伝達関数を見るかとかそこをちゃんと方針先に決めて、その観点でどのぐらい、
1:42:17	ばらつきが出てそれをじゃあ一緒にみなせるかばらつきとみなすかっていうようなはいそういう話になっていくと思ってます。
1:42:26	はい。補足です。そういった話はいつぐらいにするってことなんですか。
1:42:32	人間の方でございます。ですね、この後こうするということのある程度我々が書けるところまでは次のですね大変タケモト 08 の、
1:42:43	提出 11 月の 20 日ですかに設定しますけどそこにできるだけ反映したいと思っています。で、結果を踏まえての話はまた 12 月ということになるかと。
1:42:55	ございます。以上です。
1:43:02	はい、麻生です。カミデさん、スケジュールできないスケジュールというか進め方というか、のイメージはわかっていますか。
1:43:11	はい。カミデです。
1:43:13	もうちょっと具体的なものを示せるのであれば、
1:43:20	もうちょっと早くステップを刻んでという感じでしたけど、今の話だと、
1:43:26	物を見てみないうちには、しっかりして説明しません。できませんということのようなので、
1:43:35	今までの感覚からしてもう結果で見てみないとなかなかこうしっかり説明してくれないっていうのは、対応として多かったので、そういう意味であれば
1:43:46	次の 08 のタイミングで、まだやってきてない部分についてこうしますと。
1:43:51	いうところでいいかなと。
1:43:57	はい、小阪です。原燃がもっと早く、その認識を構築前に、
1:44:03	認識ずれて何か確認したいっていうんだったら、前日はいくらでも承りますけど、なければ今でもいいんですよ。
1:44:12	古作です。今のカミデの発言を補足すると、
1:44:18	後から出しますというんだったらそこからまたこういうのも分析が必要じゃないかというコメントが出て、後に遅れていくっていうことになるけど、そ、それでいいという原燃の判断ですよと。
1:44:30	いう確認かと思えます。

1:44:33	はい。権限のもとでございます。はい。できるだけ具体化をできるところは早く具体化して、早々に確認をさ、いただくというのが大事だというふうに思います。いつまで。
1:44:47	そのスケジューリングと、その検討方針も含めて、すいません社内持ち帰らせてください。以上でございます。
1:44:54	はい、深見です。わかりました。じゃあ、今後についてはまた最後にしましょう。はい。
1:45:00	他に突然何かあれば。はい。それちょっと強いです。一つは、
1:45:08	ないですか。
1:45:10	それぐらいで、
1:45:13	はい。
1:45:15	続けて欲しい。はい。
1:45:19	です、3 ポツというか、
1:45:22	4 ポツはい。
1:45:24	3、
1:45:24	流水定数じゃ、そんなに3、
1:45:27	鳥羽スタッフのところの3 ポツにですね、
1:45:33	これも何回も大体こういう話を聞いて、何か差分がありますねって言うていることに対して、いつまでも
1:45:40	どうするのかよくわからない状態で、この感じだと、今ここに書いてある、はい、方針を市にもなっているような気もしないんですが、
1:45:52	何か。
1:45:54	これだと、
1:45:57	明日、
1:46:00	まず何をして3 ポツ2 って今、どんな
1:46:05	はい。
1:46:07	原燃の増井です。3 ポツ2 のところの特に②のところだと思っている
1:46:12	けれども、被災差としては、1、小さいながらもあるというところがございますので、ここの②のところを書いております通り、最終的には他因子における保守性も考慮してというところになるかというふうに、
1:46:26	思っております。ですので今やっているところについては、今のこの非線形のところで、どれぐらいの何倍ぐらい超えていて、じゃあ他のところの、

1:46:36	保守性がどれぐらいあるかというところを、今後見ていこうねというところになっているというところが今のステータスでございますのでここ自体で何かしら作業が増えているというわけではない、他の
1:46:46	因子のものがある意味ですごい。
1:46:48	町といたしますか、そういうふうになってるのが実情にあります。県の方でございます。ここでやるべきことはこの日線形非線形でのですね、この差ブーンといたしますかアウトプットのサブが、
1:47:01	ここで分析できると思うんですけども、その差分がこうだよねっていうことをまず技術認定して、差分について、
1:47:12	今後こういうふうを検討して参りますというところの方向性をですね書くところまでがこのミッションだというふうに思ってます。それをどういうふうに回収していくかっていうのは、
1:47:23	こうしますという方針のところでもた回収していくというそんなイメージを持っておりました。以上でございます。
1:47:30	清長官、今野さんは①をやりながら②もやりますって言ったようなんですけど。
1:47:39	①で何するんでしたっけ、こうだよねって、どういうイメージなんですか。
1:47:46	コウだよね。香田。
1:47:50	今スペクトルに少な少ないけども差分があります。その差分ってこうだよねって言われますよね。それはそれって、
1:47:59	どういうことをイメージしてます。
1:48:01	秋野でございます。
1:48:05	その差分が、この程度の大きさだよねと。
1:48:10	いうことをすごいですね、随分。
1:48:14	そうですね。はい。今何やってるかもよくわかんないし、
1:48:18	何したいのか。
1:48:23	規制庁管理で丸2番だけでいくっていうのも、考え方としてはありますね差分をとりあえず何であるかって言ったらそれは
1:48:34	競争だって全部ばらつきの当たり前なんだから、サブが出ますよと。要はその全体としてのばらつきの考え方として整理しますっていうんだったらそれはそれでいいんですけど、その
1:48:47	辺にフォーマル位置で何か技術的な分析をするんだって言われていってしまうと、また何か何したらいいのかよくわかんないし、それは、
1:48:58	もしその①がしっかりできる泊なんかやらなくてもいいし、そこの考えが、

1:49:05	どうも定まってない感じですね。
1:49:08	神野でございます。あつて言った、なんて言いますかちゃんとご説明できないっていう形で天下よくわかってですね、我々今思っているのは、
1:49:20	線形非線形の差分っていうのは、これ今、江上さんがおっしゃっていただいた②ができるんだったら①つてもう、今事実。
1:49:31	があるだけだよねと、教えていただいたそちらの方の考えに行きたいです。で、この三本について、古藤設計の中でですねこう考えていきますというのをこういう設計にします回線生きますかも含めて、
1:49:45	火セ、世間で飛んであればこの影響というのを、こういうふうなばらつきの中で、こう見ていきますとかいうようなところをやっていくんだろうなというふうに思っていたと。
1:49:56	いうところでございます。以上です。
1:49:59	成長中身ですので、それで、②番という話になる、なるとすると、ここは3ポツだけの話ではなくて、他のところでも、当然出っ込み引っ込みあって、
1:50:12	何か差分はあると思うんですが、例全体としてのばらツリーをどう考えるかっていうところがあるんで、この3ポツだけの対応として、それをやるのではなくて、全般として、
1:50:25	ばらつきについて、
1:50:29	考えをまとめますと。うん。ていう感じになっていれば、また増えているようなんですけどね。はい。
1:50:37	その辺りは、また明確化するんであればそういう形をしていますし次の資料ですお話しする。
1:50:44	そんな形で、
1:50:46	いいですけど、あんまり限定的な対応にならない。はい、お願いします。
1:50:50	はい。安全ノモトでございます。承知いたしました。今野上さんおっしゃっていただいた意味我々もまさに同じような意味持ってますのでちょっとそここのところですね、我々の中でも迷わないようにちょっと明文化するというのを考えたいと思います。以上でございます。
1:51:07	はい、規制庁から散髪私の方から。はい。規制庁浜崎です同じ3-2なんですけれども、これ①②の話もあるんですけど今、結果的にPS検査を追加してるわけで、
1:51:21	動特性の話は、今回やらないんですよ追加ではやらないという条件ですよ。
1:51:27	あれ動特性っていうのは、建設時のものをそのまま使っていると。

1:51:33	いう理解でいいですか。
1:51:35	時間の関係のものでございますが、特性と言われた時は、それはほぼですね、今までの結果ですと、岩盤ごとにですね、ほぼ同様といたしますか、正規化しておりますので、
1:51:51	同じものが使えるかということで、それについては、従来の値を使おうというふうに考えております。
1:51:58	はい。規制庁浜崎です。
1:52:00	追加でPS検層バーナカゾノか、かなりの数やるということも含めてですねいやそれが、
1:52:08	については追加はしません。従来の方で
1:52:11	作っているのは、そこに説明は必要かなと思ってます。何でそれでいいのっていうところです。追加のデータが、既往のデータと遜色ないっていうことはやっぱり示すのが本来だと思うんですけども、今のところは動特性の、
1:52:25	追加の試験を考えてないということですよ。
1:52:29	だからちょっとそこで、
1:52:31	既往のものでも信頼性があるというところは、説明してもらいたいのものが一つなんですけど。はい。
1:52:39	で、その上で、今、差分の話が出てきて、
1:52:45	さっきの特に 14 ハダ断層を挟んで、もしかすると地盤モデル自体にも変わっ変わるっていうかね、提供する可能性もあると。
1:52:54	いうところは、これ、そうすると非線形な話も、もし、
1:52:58	地盤モデルも事情周りの地盤モデルを変える場合には、やはりもう 1 回真剣についても、
1:53:05	1 回検討し直すというスタンスで、それはよろしいですか。
1:53:09	はい。日本原燃オガセです新たにやられた速度を使って、向井振り直しで同じことをやろうと思ってます。それで、この間の会合でもありましたように、
1:53:17	それで新しくしたPS検層データを踏まえてやって、何か前と傾向が違うのがあれば当然それはちゃんと改めて考察ないし、何かしらの対応をする場合は考えることにします。はい、わかりました。
1:53:29	まさにそういう方針がですね、反映方針というか、対応方針になると思いますので、そこを明確に、
1:53:38	来た人は、説明してもらいたいと思います。はい。
1:53:42	はい。以上です。

1:53:47	清長官、じゃあ、
1:53:54	町長の木部スベンと呼ん
1:53:59	地盤及び地震動
1:54:01	と、
1:54:04	3番と競争のインピーダンスの傾向の差について説明を追加するとあるんですけど、資料反映箇所は、6ポツ3ポツ6ポツ1なんですけど、
1:54:15	これに対応該当する説明がないと。
1:54:18	マスでやりますということであればご説明いただければと思いますけど、
1:54:25	反映方針と資料反映箇所、
1:54:28	今後というか、チェックをしていただきたい。
1:54:32	お伝えしたいことですが、これは特に書き漏れはありません。
1:54:36	柿本。
1:54:38	日本原燃、
1:54:40	終わって、
1:54:44	はい。
1:54:46	今日、もういろいろこれ不足してるよねってご指摘いただいているところと多分にかぶるところがあるんだと思いますんで、今ちょっと仮聞いた限りでないといえますかアノをかけていないのも事実だと思いますのでちょっとここんところは、また追記する形で、
1:55:02	きちんと対応して参りたいと思います。失礼いたしました。
1:55:06	センミョウカミデス
1:55:08	具体のページ書いてるつもりなんであれば、具体のページ、これぐらいで書いたつもりなんですけど、言ってもらった方が、今後
1:55:17	どれぐらいまでやってくださいっていう話が、
1:55:22	じゃあ、ちょっとすいません書いたつもりの部分をちょっとご紹介だけさせていただきます。
1:55:27	基本的にちょっと西側をベースで見ていただいた方がいい。
1:55:37	違うなすいません、鶴田所みたいに中央で見ますすいません 155 ページ 156 ページをちょっとご覧。
1:55:44	下線引いているところが、
1:55:46	なってございますが、同定できていると判断する際に着目した点というのでは 155 ページのところの 2 ポツ目特にというところで、今回、本日のご説明でもよく出てきました、一次及び二次のピーク。

1:55:58	ところが、よく出てましたというようなところに着目したという話も判断基準同様のところですがただ今日いただいたご指摘踏まえてもっとここは深津ことになります。
1:56:08	これで判断基準のところまではちょっとすいません、これぐらいの記載でした。で、
1:56:13	ちょっと地盤及び地震動の特徴との整合性という観点では、ちょっとこれは、
1:56:19	なんかあまり入れてないところがございます。というのははいすいません。止めますのでちょっと次回何かしらの記載を追加させていただきます。最後岩盤と表層のインピーダンスの傾向の差というところにつきましては、いわゆる地震観測地点における表層地盤の厚さとか、もしくはそういう
1:56:37	実際の建物の位置とか、設定の違いとかそういったところを踏まえておきたいというのが156ページのところであります通り、中央地盤のところでここは書いてますけども、中というのは表層が非常に薄いというところなので、そんなに表層がおかしくなってもその費用というのは小さいですよということを書いて
1:56:54	一方で西ヒガシの方にすみません、ちょっと違うようなことが書いているので書かせていただきますと、165ページのところなんですけれども、これは、
1:57:03	ところの一番、耐震設計においてのところですね、はいというところがございます、実際にあの建物があるようなところとここ西側地盤の観測地点というのは違うようなところになっております表層地盤の厚さとかです、そういったところがありますので、あくまでこの岩盤部分の、
1:57:20	速度構造ないし減衰定数を出すという観点では、ちゃんとこの解析でちゃんと十分役目を果たしているというふうなことを、ちょっとここで聞きました。それでちょっと対応はしたつもりだったんですが今先ほどの件、
1:57:31	タナカの話がありましたようにちょっと本日のご指摘を踏まえまして、後ロジカルに書くという話具体的に書くという話になりますので、そこをもう少しわかりやすくした上で、④の対応というのを改めて配布させていただくようにさせていただきます。以上です。
1:57:48	ヨシノです。はい。
1:57:51	わかりました。反応方針に書いてある言葉と実際に記載内容、
1:57:56	反映方針の方、多分こちらから指摘した内容をそのまま
1:58:02	をベースに書いている。

1:58:03	実はこれ 2、
1:58:05	そっとな対応しようとしたときに、
1:58:08	まず、
1:58:09	求めているものが理解できてないからずれたのか、求めているものが、実際に精査したところ該当するようなものがなかったの、他の変わるもので説明したのかわからない。
1:58:19	なので、もし後者であれば、こういう観点で見たところこういうことがわかったの、こういう説明で置き換えるといった説明があつて欲しくて、それがなければ多分、問題意識は伝わってないんだなという。
1:58:32	再度コメントを求めることになるかと思しますので、
1:58:35	会議方針の説明は単に会社、
1:58:39	衛藤精査した結果、検討した結果こうしますといったことも含めてちゃんと説明をできる。
1:58:45	していただければ、
1:58:47	明日、アノ先生は何かやろうとしているということは、
1:58:51	今後そういう点に入れば、
1:58:53	はい、元オガセです確かにおっしゃる通りだと思いましたがちょっと、
1:58:57	コメントノムラ石なっちゃってるところがありましたのでそれに対して、ここだと何項目かあるわけですねそれぞれどういうふうな解釈してどういうふうな説明を加えたかというのがわかるように
1:59:06	対応方針に書きます。
1:59:09	そいそうですねはい。もしくは切れなければですね、08 の説明の際の同等の時にそこを補足いただければ、そこは理解しやすいかなと思います。そういったこともちょっと検討いただければと思います。はい。
1:59:25	規制庁川満儀間あつたように、まず、ここに書いてある。
1:59:30	その反映したことと、対応ですね、言葉が違ったりすると、わかんないしっていう、そこはある改善点だと。
1:59:40	思うんですけど、さらには、さっきのヒアリングを聞いてても、結局この展開が、
1:59:48	我々が欲しいレベルに、
1:59:51	全然達してないというところがあつたわけですね。
1:59:56	素行を、このコメントリストを作ただけでは解消できなくて、もっとこういうことかけますって書い、書いておかないと、結局



2:00:07	資料一生懸命作って出したのに、まだたないねって言っても、もう1回やり直しがあるということになっちゃうんでそれを解消するために、こういう書類、
2:00:18	対応方針みたいな確認から、もう少し深く書かないと、結局、2度で手間を減らすことに、
2:00:28	繋がらないってことでちょっと考えていただきたいと。
2:00:33	はい。案件でございます。集中しました江藤田井を開放しですね、これも、
2:00:38	もう少しちょっと、これから考えますというようなところなんかもあったりして、ちょっと碓井キタ二なっちゃってとか、ある意味です。
2:00:48	これからこうやりますというのをこれから考えませんじゃなくて、
2:00:52	ヤマシタという断面でお出してこれで、ニシダてますかということをしていただくのが肝要かというふうに認識いたしましたんで、ちょっとそういうふうな対応がですね足りてなかったというのを認識しましたので、ちょっと対応させていただきたいと思います。以上でございます。
2:01:06	成長カセ私が大事だと思ったらこう考えますの部分で、やってこれからやっていくことを、なるべくイメージを具体化して、
2:01:17	変えていくってことが大事なんだと思ってましてこうやりましたっていうのは資料が出てきた時には家に一緒にあって、うん。
2:01:27	あると我々がちょっと読みやすいねぐらいの話であって、それは完成品があればですね、
2:01:35	二つの完成品ができる前の段階で、
2:01:38	なるべく
2:01:40	精度高いものということ言えば、こういうことをやっていきます。全部やるわけじゃなくて現地でこんなことを考え、こういうことを候補に挙げつつ、
2:01:51	検討していきますなんか、こういう目的で進めていきますっていうことをあらかじめ言っておく方が、私は大事だと思います。
2:02:01	異議の通りでございます。承知いたしました。
2:02:07	はい。
2:02:09	成長します。あと、4ポツについてはアノー9というところで、
2:02:14	追加調査をととても重要で実施に対して説明を追加するという、
2:02:21	対応資料の箇所は
2:02:23	今後ということかと思えますけれども、

2:02:27	現地確認をさせていただいた時のですねその辺り口頭で説明を求めた。
2:02:33	やってみたら問題ありませんでしたというような結果の説明にとどまっていて、非常にもったいないなと感じておりました。
2:02:40	現地で実際のデータなんかを見せながらですね、こういうところ、
2:02:45	そういう説明があるのかなと思ったんですけども、おそらく今後、追加調査結果を踏まえて検討実施予定とありますので、ご説明があるかと思いますが、そこら辺、何に着目して、どう評価して、
2:02:58	ツカモト問題イマセといったところがちゃんと説明できるように準備、
2:03:03	できれば、
2:03:05	現状でございます。承知いたしました。
2:03:09	私は以上です。
2:03:13	はい、杉沢です。さっきのちょっとカミデの話にも繋がるんですけど、私の方はですね、具体的には4-6と4の給与の中ですね。
2:03:22	記載を追加とか今後検討って、今の段階で、どういうことを考えてますっていう話でできますか。
2:03:31	4494564-9-1690。
2:03:38	はい。日本原燃のオガセですまず4-6の地震他の商法のところのお話です。衛藤。
2:03:44	すいません。4-6の干渉法のところは、今回変えてきたつもりで志田アノ6本
2:03:53	それが私先ほど贈呈のところでも申し上げたんですが、アノちゅ
2:04:00	アノ、
2:04:01	わけですから結局書いたけど、1ヒガシで違うっていう話じゃない。
2:04:07	はい、センミョウオガセさん、赤嶺さんおっしゃる通りだと思います。これは本当の話だと思います。
2:04:15	で、90のところでございますんで、
2:04:18	まず9からいきます。先ほどあった事件もございますけれども、4-9につきましてはですね、
2:04:25	実際ご指摘浜崎さんの方からお伺いしてて、
2:04:30	実際に測った結果で、やはり近いところはですね、表層部分の多分基礎の影響がですね、出ております。
2:04:38	で、それにつきまして今ちょっとデータを見ながらですね、その影響について検討して、実際に今やってる元原則的減衰定数の測定にはですね、営業

2:04:50	示させていただきます。
2:04:52	具体的にデータを見せて、ご説明したいという
2:04:59	今答えてもらったぐらいのことが書いてある。わかりやすくここまではわかってやってるんだね。それに対して国をして、こういう目的、要は、いや、与えないってことを目的に、分析をしていくんだと。
2:05:14	言われると、そっかっていう思いで、それぐらい書いていただく。
2:05:21	はい、萩野でございます。承知いたしました。
2:05:25	はい。4-10のところにつきましては、これは今までもご説明してる内容のところであるんですけども、今回出ているところっていうのはあくまで既往の点における地震観測記録とSR検層に基づく結果で、12グループ全部あるわけではありません。その中にグループ全部のデータというものが、エザワ検層とあとコア試験、
2:05:44	出てきますので、それぞれ比較、出てきた結果を比較します。その上で、一緒に出しているのかとか個別に見るべきなのか、地震観測記録ってのはどうしてもそれはみずからふやせませんけれども、それと比べて、
2:05:57	会議が上にイシタニっていうかそういうような検討をやっていくというようなところを考慮しております、それは今回、
2:06:04	2-3の中の最初の評価方法がと並べたところがあるんですけどその考察のところにも、もう少しなんつうか、各検討の位置付け、追加調査をしたものに対してのその展開のやり方というところを変えていくというのを考えて、
2:06:16	ところでございます。はい、規制庁幅野です検討をやっていくっていう、何か解析等、
2:06:22	手を動かすというような作業をやるのか或いは文章として追加する。
2:06:27	詳細な説明をするっていう、どちら。
2:06:29	はい。基本的には文章ないしそのデータを見ての考察を追加していくという話だというふうに思っております。
2:06:37	わかりました。その文章を見てから、
2:06:41	お話いただきます。
2:06:44	はい。
2:06:47	物の個別の話は、
2:06:49	まあいいかな。
2:06:51	で、
2:06:52	多様な

2:06:54	今まで話をしたような、
2:06:58	反映してもらえればと思いますけど、特別、
2:07:02	ポポツで、長層についてここは結局北井みたいな成長がありますか。
2:07:08	津野チーム長じゃあ、一つだけ、えっと、まずゴトウ図-2とゴトウつ-3、これ書き分けてるっていうと、同じようなことを言ってるように、
2:07:17	それぞれ問題意識とか目的って、違う。
2:07:21	同じようなことで、ゴトウ通会議録と、7、7、特記これも三つに書き分けてるけど、それぞれ何が違うのか、今ひとつ
2:07:31	このそれぞれ問題意識と、目標が違う。
2:07:36	まず一つ。
2:07:39	当然、
2:07:41	POSの
2:07:42	予算はですね、基本的に同様のことを書いてございまして、
2:07:48	ゴコウⅡにつきました
2:07:51	て、
2:07:52	3はですね。
2:07:54	補足説明資料の、
2:07:56	をですね、を意識したもので、実際にはこれらを見てですね、総合的に今の耐震2番08の本文の方に書き直そうと思っておりますので、
2:08:08	ちょっとこれ分ける必要はございませんでした。申し訳ございません。
2:08:12	あとですね、この下の567、この辺の話につきましたは、6と679です。679ですね。
2:08:22	六、七十につきましたは、全国23館にあります、交流度、
2:08:28	主栄光粒度赤穂配合の流動化処理と、通常のベントナイト混合度で、堀越昆と、
2:08:37	ございますので、
2:08:42	解析
2:08:46	材。
2:08:47	で、
2:08:48	アダチにつきましたはですね建屋の方の評価方法という
2:08:53	ちょっとそれはオガセの
2:08:56	小橋さんの方から、
2:08:57	話をさせていただきたいと思いますが、
2:09:01	5-6号7、5-9、
2:09:03	ほぼ同じことを書いてございます。申し訳ございません。ここで一つ、

2:09:10	記述させていただきたいと。
2:09:14	そうです。
2:09:15	受けたこと。
2:09:18	えっとそれぞれの問題意識の違いがあって、それぞれの対応方針、
2:09:22	対結果というものがそれぞれにあるのであればそれを明確にさせていただく。
2:09:27	今、多分、指摘をそのまま書いた時で、資料反映箇所、今後やりますとしか書いてないんで、そこら辺が、
2:09:34	おそらく現在の中でも整理、
2:09:36	来られる。
2:09:42	具体的な、
2:09:45	にはなっていないので、少なくとも問題意識を、例えば、
2:09:52	で結局は同じことで売れていることであればそれは一緒にさせていただくという
2:09:57	うん。
2:09:59	はい。なし。
2:10:00	やること。
2:10:01	成果。
2:10:03	それぞれ明確になるような形で説明していただければ、こちらイメージしやすいし、また内容についての議論がしやすくなるかなと思います。その点ご配慮いただければ、
2:10:13	前の方でございます。はい、承知いたしました例えばポンプⅡ-1なんかは、これはいただいたコメントが分かれてるものを集約してこういう形でやってるんですけどもうまさにこういうような形で一つのですね、
2:10:25	方向のものはもうカテゴライズしてちょっと、ちょっとどういうことをやるかわかるようにということかと思しますのでちょっとすみませんそういう対応が、議論してくださいという気もいたしましたので対応して参りたいと思います。以上でございます。
2:10:43	進捗します。
2:10:44	すみません。
2:10:45	ちょっと。
2:10:47	普通-3で、どんどんいろいろと、
2:10:55	今後調査結果が出てから考えるというような、
2:10:58	ですけれども、こういう例えば次 14 ですね下に、

2:11:03	断層があって、ガラッと状況が変わっちゃうような地盤状況がまずあったとしても自重施設に対して、
2:11:11	ヒグチシンボを算定するにはどうする。
2:11:16	すでに用意されて、申請した結果があるからそれに引きずら
2:11:22	れカラー1 から地盤モデルを、
2:11:31	うん。
2:11:32	説明する手法を新規に考える。
2:11:38	後付ですね、これでいいんです、いいからいいんですっていうような説明になっちゃった。
2:11:43	これは多分、
2:11:44	違います。
2:11:45	そこはそれを念頭に置いて、社外支援者の方と、はい。
2:11:51	意見交換しながら、次回、
2:11:54	そういう手法であると。
2:12:01	秋野でございます。承知いたしました。
2:12:06	すいません。
2:12:10	はい。
2:12:17	なければというか
2:12:18	その全般的なやつとおっしゃってますけど、0 ポツとかで書いてあって、
2:12:26	05 角さんとか、客観的にちゃんと見て、公平的なところで説明してくださいねっていう話は、
2:12:36	今日の前半の図 8 でもう、まだコメントがついてるようなところで、なかなかその、
2:12:43	これぐらいのですね、ふわっとした書き方だと、
2:12:47	全体に浸透していないっていうことなんで、
2:12:50	思いますけど、どうしていきますか。
2:12:53	案件の方でございます。ここはある意味ちょっと、心がけに相当するようなところまでこの 0 ポツの比率なのかなとは思ったんですけども、
2:13:03	そのやっぱり認識が、やっぱちょっと浅いよねという指摘キーなんだと、いうふうに思ってますんで、これはですね
2:13:13	やはり今じゃ足りないよということを関係者で再認識して、ちょっと今度また次ステップアップしてやっていかないと仕方がないのかなと、ちょっとそういうスパイラルアップみたいな。
2:13:24	そういう意味でちょっとやらせていただくのかなという印象を私持っております。以上でございます。

2:13:30	後0ポツの2も、
2:13:34	何かありますよね。今日も、これ何の目的でやってるんですか、っていうところが、よくわかりませんね。その判断基準はありません。別なんですかっていうところは、
2:13:46	やっぱりヤギってのは、今まで、
2:13:49	この書き方だと何か、その差、前半はそういうことを言ってるのかなと思いつつなんか最高資料の話。
2:13:57	に何故かそこ収束していて、これは勝田言っていないだけだと。
2:14:03	ですけど
2:14:04	フォローが形だとしても、もうちょっと他の人もわかるように、こういうふう
	にちゃんとやっていこうねと。
2:14:12	いう感じで少し下書いた方がいいのではこれはちょっと老婆心なんですけども、しっかりお願いしますという。
2:14:21	元ノモトでございます。おっしゃる通りかと思えます。ちょっともう少し具体的に書くのもあれですけども、えっとですね、ここの全ポツはですね作成者のみならず、
2:14:33	どちらかというレビュー者がですね、こういう観点で来てるかと、いうことを見るべきことだというふうには思っていて、私もこれーを念頭に置いてちょっとやるべしというところでレビューしてるところでございます。ただですね、
2:14:47	それ、こう言ったらなんですけども、これでも大分直しては居るんですけどなかなか直しきれてないというところがあってそれやっぱりですねレビューのサイクルがやはりちょっとですねまだ足りてないのかなというところも、反省点としてございまして、そういうことも反省も踏まえて、
2:15:05	今回ですね、オオハシの提出時期ちょっと後述べさしていただきましたけども、ちょっとレビューのですねサイクルをもう少しまわしたいというふうに思いますんでその中でちょっと改善して参りたいと思います。以上でございます。
2:15:17	はい。清長官、わかりました。他、
2:15:21	今後の対応方針的なところ。
2:15:24	全体ありますか。
2:15:29	となければ、
2:15:32	ざっくり。
2:15:33	はい。
2:15:35	だけでも振り替えますよね。

2:15:37	はい。
2:15:51	てます。
2:15:53	私も、はいらない。
2:15:57	なんか画面共有する時間の、
2:16:03	間にお話で、この対応方針という、その先どうします
2:16:10	ダムのであれば、どっか、
2:16:13	またやってもらって、出してもらって、
2:16:17	話をするっていう、冷蔵とってもいいですし、
2:16:21	今日、今日の話で、もう明確に道筋が見えたので、08、
2:16:27	出すのお待ちくださいとか、
2:16:29	何時ですか。
2:16:30	元の方でございます。ちょっとまたCに載っておりましたのが、これまたアノンある 2122 踏まえたハヤマ課長っていうのはシバするんですけども、
2:16:41	これはちょっと短時間でもいいのでちょっと時間いただいて、個別にヒアリングを申し込ませていただいて個別具体論の技術にも入るところがございますので、
2:16:54	やらせていただくのがおそらく空アノえんじゃないのかなというふうに思ってます、それはちょっと密着できず、来させていただくかウェブでやるとしていただくかまだちょっと調整なんですけれども、
2:17:05	そうどこかで1時間、カーそこらぐらいのスパンでも結構ですねお時間いただくような、ちょっと申し込みをさせていただく、調整させていただくのかなというふうに思う。
2:17:16	はい。それは全然、うん。は見ません。はい。また別途。はい。
2:17:23	今ちょっと入るように、
2:17:25	操作してますが、
2:17:52	なんかそう通信が悪くなっちゃってるんだね。そう。携帯感じ回線駄目するという、そしたらちょっと口頭、そういうちょっとすいませんやらせていただくというふうに思います。
2:18:07	六ヶ所事務局ですけれども、画面共有するファイルを仰っていただければ、こちらでやります。アカセって書いてるやつです。
2:18:19	で、
2:18:20	わかりますか。
2:18:23	はい。六ヶ所側から画面協議させていただきます。はい。
2:18:28	はい。有賀。



2:18:32	入ってます。
2:18:35	麻生ヒロキ西部
2:18:38	ウツミ。
2:18:42	別でしょ。
2:18:48	うちは、
2:18:50	はい。
2:18:51	それでは、振り返りさせていただきます。全体としてんですけども大前先生に頼りすぎて、すいません六ヶ所がちょっと移行してるんですけども、
2:19:04	行った。
2:19:05	皆さん、
2:19:07	市野さんちょっと、
2:19:13	1個1個、
2:19:15	板野何とか、
2:19:22	してますよ、これでいい。
2:19:25	いや、円筒ですね。まず、大前清モテギといったような感覚的表現じゃなくって判断基準等を明確にした形で、客観的な表現、客観的な判断基準等をちゃんと記載することというのが全体としていただいたことだと思っております。
2:19:43	で、別紙2-3の部分でございますけれども、速度構造前後の比較ですね、これを記載することというのが②番です。
2:19:54	③番が、当協会同定というのは
2:19:58	これは言い過ぎなんで目的関数に合致するということがわかるようなところで説明を、すいませんちょっとこのことが出た方がいいですね。
2:20:09	衛藤木曾境界を設定したという説明ぶりなんですけれども、この贈呈した結果としてそう協会の存在が明らかになったというわけじゃないので、これで結果として説明せんようにフィッティングなったというその位置付けをはっきりしなさいということでございます。
2:20:24	4番目、西側地盤の岩盤状態が西側に傾斜していると、いうことを踏まえた初期地盤モデルを、を確保する考え方の記載を適正化すると。
2:20:38	ということで、シンボから岩盤が分布してるとかそういう記載のところですね、ここはちょっと適正化するとわかりやすくすることでございます。
2:20:49	飛ばせSE確保専門を有する地震観測記録に対しまして、これをですね、

2:20:59	等を、このFTWその地盤のまず構成とそれから地震動のあれですね 20日ですね、これ
2:21:10	を整理して、きちんと考え方を記載するという事でいただいているんだと いうふうに思っております。
2:21:15	それから初期地盤モデルの設定における、地震衛星設置位置の地下 構造の方につきまして、この作業文書ですね、N-Sイダピック呉を
2:21:28	等のフォロー状況を踏まえた考察を聞きたいということ。それ、すいません。 5番がですね、7番が、同定結果がですね、これ別途といいますか 同定結果を導き出した結論に近い。以上です。
2:21:43	待って、どういう点に着目して、これが同定結果としてその先海田と話 せるかのようなプロセス、それから、ハタケ、
2:21:53	ということとそれから動的なそっち質問。
2:21:57	実態を記載をすることということにいただいているということ、これは振 動数依存を考慮する場合しない場合の統計情報について、
2:22:09	監査の信頼性の確保につきまして、設定事項請願にやってること等を かけることがあれば若干と言うことです。9番目、主に地盤モデルの設 計建設探索範囲の設定について、
2:22:22	そうですね。技術があるから逸脱していない。例えばですけども、コサ クさんの設計がですね、これが皆さんと、角田チームマネージャないと。
2:22:34	ということでどういう考え方で、これがいいと判断したのかというところまで 踏まえて自動記載することということになっております。
2:22:40	10番目、活動性決裁につきまして岩盤部分の減衰として代表させてい る層につきまして、これ解放基盤よりも浅いところに、
2:22:51	そうです。相当するというふうにみなせるのかどうかというところで説明 追加することということにいただいております。
2:22:58	11番に関します依存性の、すみません、補足です。
2:23:02	今の10番なんですけど、
2:23:05	一つの層を代表させるっていう考え自体はぶれない。
2:23:09	ですか。
2:23:11	一つのソウノ値で代表をさせるので良いのかということですよ。
2:23:18	すいません、ちょっとコサクです。結局、そこ。
2:23:23	重みづけして平均するとかってというようなこととかも、少し選択肢として はこちらから話題提示したと思うんですけど、
2:23:32	そういったこと、
2:23:34	となり、

2:23:35	ていうのはなく、単純にその
2:23:39	ソウノ選定の考え方って言われちゃうとていう気がして、はい。
2:23:44	日本原燃のオガセサノおっしゃる通りですちょっとセ選定というところで、何か択一に見たり、見えてしまってすみません。ちょっと言葉を直すべきだと思います。岩盤部分の減衰として扱うソウノ。
2:23:59	考え方ですかね。
2:24:01	考え方ですソウノ考え方っていうと結局一緒に、各層で出た減衰。
2:24:08	定数の数値を、今後は使うにあたってどう考えていくかって結局ならないと、一つの数字出すことにならないような気はするんですけど。
2:24:18	逆に言うと今ひとつの数字出す必要がありますっていうことにも繋がってくるんですけど。
2:24:24	どうなるんですかね。
2:24:28	全部でございます。一つでやるべしということ、ここで書きたいわけではなくて、今おっしゃっていただいている、認識と割れは同じ認識持ってますんでこの書き方が悪いと思ってます。だからそういう意味で代表させてる所っていうのは、書き方がある。
2:24:44	角度的カーを用いてその岩盤部分の減衰として、等の設定の考え方について、検討して説明すると、というようなことがここで申し上げたいことだと思ってます。
2:24:59	古作です。設定の考え方を述べるっていうのは、このタイミングじゃなくて全体が出てからなんじゃなかったでしたっけ。
2:25:07	岩盤部分の減衰。
2:25:11	ポストじゃないコサクですので、今回数字を一つ出してきたから、
2:25:16	その数字でなぜいいんですかどういふつもりで書いたんですかっていう質問になってるんですけど。
2:25:21	対応として、現状一つの数字に絞る考えの整理は今後ですっていうんであれば、一つの数字書けなくなって、
2:25:30	各層において幾つから幾つの数字が現状出ていますっていうことでしかない、そういう記載ぶりに変えますということの対応になるんですけど。
2:25:40	何かそこがぶれてるような気がしますね。
2:25:44	玄野本でございます。今確かに一つの数字を書くからこういう話になると。
2:25:50	そういうことで今のステータスで述べるべきことをちゃんと記載するというで、そういう意味でちょっと誤解のないような記載に改めるということかというふうに思います。以上でございます。

2:26:07	はい、補足ですよろしくお願いします。現状はそれ、
2:26:10	だと思っんですけど、今後はその考えをちゃんと提示いただいて、こういうふうの設定していきますっていう説明もしていただく必要があるんで、それも忘れないようにしていただければと思います。
2:26:22	原燃の方でございます。表示しましたが心配。
2:26:25	いえ、対応方針、ちゃんと。
2:26:28	まだまだ具体の考えはちょっとそれに反映させていただきます。
2:26:32	それでは次にちょっと移らさせていただきます。1 番目、各種遊び造成の考え方における設定の位置付け踏まえて、着目。
2:26:43	呉と、それから同定結果がツチヤあると判断したアノさんの根拠を考えてですね、それを明確にすると。
2:26:51	いうことでございます。
2:26:53	10 番目、ナカジョウが使えないいうこのを、
2:26:57	農協さん 2 番の物について地下構造としまして西側と東側で、その理由として、同じ部分、表層地盤、アノがババのコントラス費の部分と、それが一番固形化してるから、今度、
2:27:11	みたいなところといったところを、ちょっと全部アノキシノわかるようにカツラということだというふうに考えてございます。
2:27:20	その次、衛藤島根ここまでが、
2:27:25	資料 3 のところで、
2:27:29	藤先生、所でございます。次、13 番からが対応方針ですね、採用方針につきましては実際には含めて検討の方向性が処理されてるアノアオキ際ですねちゃんと正しくない、最後ありましたからその趣旨が、
2:27:42	とらえた記載を心がけてください、設置を記載することということだというふうに思っております。
2:27:48	で、14 番で、入力地震動を算定するための地盤モデルを設定すると、いう目的を踏まえて、その安全断層を
2:27:59	評価になるためにつきまして、断層の上盤側シバタ河津 エザキまして、どのように、除籍を設定することになったと、要はその方針について、この今、フタミでですね、考えていくことというのをちょっと書いた形で、
2:28:14	また時間の最初の 08 アリマの方針、今の方針にも、書けるところは変えていくという形で、ご説明していくということになって、
2:28:24	4 番目。

2:28:26	岩盤形成におけるひずみ特性につきまして、追加調査によって新たなデータがいないのである。
2:28:35	ひずみ依存時間が一番は新しく増えないので、あくまで今現時点におけるデータのすみません。当然、妥当性について、示すポートと、
2:28:49	つってもいいですか、ちょっと噴火について調査してあげられるみたいなことですね。はい。
2:28:55	16番で、3番について、追加調査により、新たな技術研修生が入られた場合にはそれを踏まえた新規設計解析は、これさっき実施いたします公開としたものでございます。
2:29:08	で、対応方針につきましてはこれに対してどういうふうに書いて、どういう方針で検討を行うことにしたかがですね、これちょっと具体的にちゃんと議論できるような内容で記載することということで、いただいとるというふうに思っております。
2:29:22	ごめんなさい。こっから先、18番以降はごめんなさい個別具体で、じゃあどういふ方針で書きますかもちょっと口頭でご説明した内容なんで、これとちょっと残すんやっただすいません。18以降は消して。
2:29:34	17、例えばですね、これ、建屋近傍の大きさ検層の検討の方針、口頭で申し上げましたけどそういう内容をちゃんとこの弘中に
2:29:44	反映していくと、いうことがいうふうに思っております。
2:29:47	これ全般につきましてはリバイスいたしまして、できればヒアリングいただくような方向でちょっと調整させていただきたいと思っております。以上でございます。
2:29:58	はい。
2:30:01	生協がわかんないんですか。
2:30:05	7番、もう1回、
2:30:17	私のため、
2:30:22	6ヶ所の⑦番、お願いしていいですか。
2:30:29	アベ。
2:30:31	2行目なんですけど、結果と地質構造の因果についてっていうのは、よくわからないんですけど、想像すると、
2:30:41	深度方向6分ゴトウで、
2:30:45	伝達関数の比較図があって、
2:30:47	GL-200を含むやつはどうなんだと。
2:30:50	これは125以上がついてるからどうなんだっていうやりとりされてるんだとすれば、

2:30:57	その通りなんですけど、
2:31:00	シンボコウコウ
2:31:02	の傾向の違いも含めて、
2:31:03	というような意味合いになるのかなと思います。その中で書かれてですね。日本原燃の岡ですその話プラスです。もともとはあれですね西側で
2:31:14	どっちも固い方に想定されたっていうことでもととの仮説と違ったみたいな。
2:31:20	それとあと伝達関数上のその差が出たサノ話その両方を踏まえて、その地質構造と同定結果の印可というか、差というふうなことで記載をしました。
2:31:30	規制庁かなり広く書いてるっていう、そう、そうですね。はい。
2:31:41	はい、わかりました。逆に広すぎてですね、具体的に何をやるんだっていうことが、原燃社内で混乱しない。はい。そこは、今言った内容としな
2:31:57	生協さん、よろしいですかね。
2:32:02	はい、じゃあすみませんコサクです。振り返りじゃないんですけど、すごい細かい話で、時間を割いて申し訳ないんですけど、127 ページで、大分今日前半議論されたんですけど、
2:32:16	これズーでですね、
2:32:19	と。
2:32:21	判例が出てないものが幾つかあるん。
2:32:23	ですけどそこは、
2:32:26	どうなってるかっていうのを教えて欲しいんですけど。
2:32:30	ちょっと論点とは、
2:32:32	あまりならない場所ではあるんですが、建物周辺の埋戻度なのか、のところ、FLなのか、これは書かなくていい。
2:32:43	ていうか、ことなんですかね。はい。図があるんですから書くべきだという認識を持ってございまして失礼いたします
2:32:51	はい。改めて、
2:32:52	必要な判例だと思いますので。はい。これは、
2:32:56	ないのであれば追加しましょう。
2:33:00	はい。
2:33:01	高速です。で、あと、逆にその図にはないけど書いてある、羽根に書いてあるっていうものもあるような気はするんですけど。

2:33:10	そのあたりは判例の作り方ってどうなってるんですか。はい。本年度は、出てくるものだけを見て、書いてしまうと、何か、何て言うんすかねこの地盤のジャンルとかです例え
2:33:22	これチーム長とか上部層とかっていうふうなのを網羅的に書いてるつもりなんです、その辺はこうなんですかね、逆に言ってわかりにくくなったところだったので、あえて次の 129 ページ、東側、
2:33:33	共通の凡例になるようにしたというのが作成イトウでした。結果、何か、すいませんFLが抜けたというちょっとよくないことになって、
2:33:41	わかりましたそういう配慮かなと思いつつ、ないとやっぱりっていうのはあるので、全般見て、
2:33:49	漏れがないようにということで対応いただければと思います。これは
2:33:57	会合と同じように作られるように先ほどの振り返りでもあったと思うので、その点でも、ブラッシュアップをしていただければと思うんですけど、もう 1 点
2:34:10	ボーリングの、
2:34:12	図の書き方の意味なんですけど、
2:34:15	まず何で灰色なのっていうことと、
2:34:18	このバナーの形状、
2:34:21	なり、何て言うんすかね、ハッチングというか、絵の描き方が非常に何かこだわりを持って書いているようなんですけど、これ何か意味あるんですか。
2:34:30	衛藤元の場所です。今古作さんおっしゃったのっていうのはあれですよ。の真ん中にナンバー1-1 とかでタテコウ線ひいてあるようなやつ。
2:34:40	はい、そうです。すいません。ちょっと。
2:34:42	図 0 んなっちゃったのは見つらいなというところでシソクにこだわりがあるわけではございません。ですので、資金繰りって言いながらこの何かパターンとこのパターン、いろいろこれ多分少し印刷の、
2:34:55	感じだと思います図面上はこんなに差をつけてやってるものではありません。
2:35:01	いや、いや、これ、この柱状図、多分、
2:35:05	600 ハッタってことは、白抜になってますはい。
2:35:11	いうことで、
2:35:15	うん。
2:35:17	すいませんちょっとはい。確認して意味のあるところで二つわかりやすい変えます。

2:35:24	ありがとうございます。はい。
2:35:25	よろしくお願いします。以上です。
2:35:30	はい。
2:35:32	河井薄井ですかね。
2:35:35	はい、じゃあ、すみません、ちょっとしてしまいましたけど、これでヒアリング終わりたいと。
2:35:40	まず、